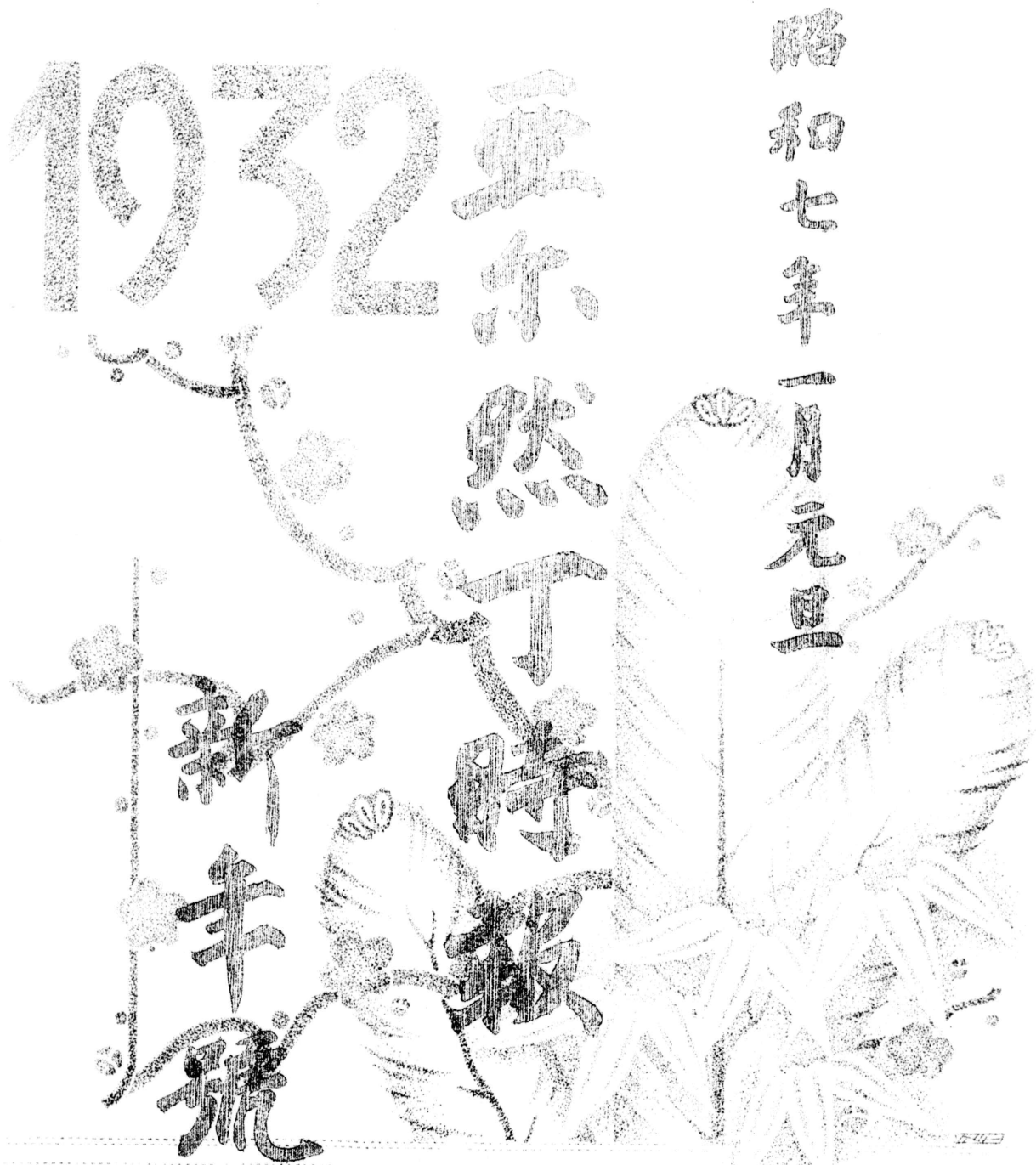


EL «ARGENTIN DJIJO»
PERIÓDICO SEMANAL EN JAPONÉS
REDACCION: UZPALLATA 281, BAIRRES-U.T. 23 B.Orden 7051

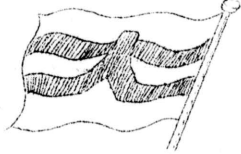
AÑO IX

Nº 396



NUMERO EXTRAORDINARIO
1º DE ENERO DE 1932

新 禧



希望に充てる昭和七年を迎ふるに當り、謹みて大方の御多祥を祝し併せて尚一層の御愛顧を偏々に願ひ上げます。

大阪商船株式会社 フエノスアイレス支店

自亜西國を繋ぎ唯一の直通定期航路、日様の大阪商船は、船隊、サービス共に、愈々整備充実に御乗船の榮を御待ちし居ります。

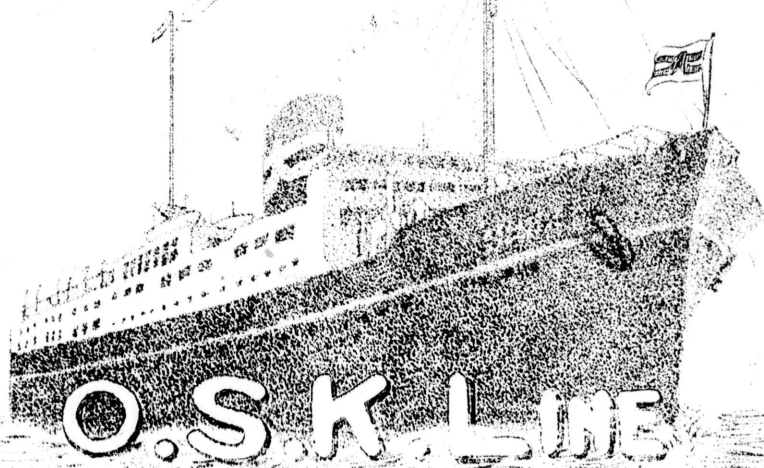
毎月二回 日本行定期出帆

○北米、パナマ經由日本行（古界一周線）一萬噸級の新造大型「セイゼル」客船、ふんのすあいらす丸、りおをふね丸、及びさんとす丸、らぶらた丸、さんてい丸、の五隻就航。

○南東、阿弗利加經由日本行（アフリカ延航線）一萬噸級の大型汽船、あかり丸、あらひ丸、ありま丸、はわい丸、まじら丸の五隻就航。

御乗	船名	往	日	往	日
特等	ふんのすあいらす丸	往	日	往	日
特等	りおをふね丸	往	日	往	日
特等	さんとす丸	往	日	往	日
特等	らぶらた丸	往	日	往	日
特等	さんてい丸	往	日	往	日
特等	あかり丸	往	日	往	日
特等	あらひ丸	往	日	往	日
特等	ありま丸	往	日	往	日
特等	はわい丸	往	日	往	日
特等	まじら丸	往	日	往	日

大阪商船會社所有
船船總噸數 五拾五萬噸
經營航路數 五拾線



CANGALLO 462-B.A. - U.T. 33 Av. 1051-59

謹賀新年

S. YAMADA Y CIA

IMPORTADORES

山田商會

MORENO
2037

市内モレーノ街二〇三七

U.T.
47 CUYO 4354
" " 4405

BUENOS

AIRES

CAFE JAPONES

DE K. UCHINO

LAS HERAS 667,

TUCUMAN

賀正

昭和七年一月一日

トクマン市

カフエ・ハポネス

内野清

謹賀新年



CAFÉ TOKIO

DE

Haihara & Co.

FABRICA Y
EXPOSICION
HUMBERTO 1º
2015
T.T. 2943 BORDEN

SUCROSA Y
LAVALLÉ 1388
J.T. MAYO 6354
SUCROSA Y
KUMITRE 549
T.T. AVENIDA 0153

東京珈琲店

貝原兄弟

謹賀新年



船舶御用商

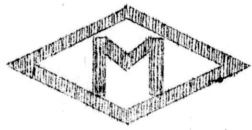
大阪商船
會社指定
三等乗船切符仲次所

森川塩澤商店

Paseo Colon 470
T. T. Avenida 4171

大阪商船會社船客御送迎に就ては懇切迅速に御便宜御取計の中より候間、御遠慮なく右記へ御用命願上度候
日本行き三等乗客乗船切符仲次所に指定せられ候に就ては乗船万端、精々御便宜御取計申上候間、精々御利用相蒙度候

恭賀新年



MATSUURA TRADING CO. LTD.

IMPORTADORES
ARTICULOS GENERALES DE JAPON

LAVALLE 341 - ESCRIT. 107 - U.T. 31 RETIRO 6985

松浦貿易商會

藤崎商會

FUJISAKI Y CA

IMPORTADORES Y EXPORTADORES

SARMIENTO 459, P. 3º ESCRIT. 28-29
U.T. 31 RETIRO 4459

29 SHIOCHO IUNCHOME RIO DE JANEIRO
YOTSUYA - TOKIO SAN PABLO

46 SUMIYOSHICHO SANHOME PERNAMBUCO
YOKOHAMA - JAPON - BRASIL -

恭賀新年

BAZAR JAPONES

DE

IRIZUKI Y USUI

RIOJA 1956

BUENOS AIRES

白井知則
入月武

正月元旦

賀正

KATSUDA Y Cia
IMPORTADORES

恭賀新年

昭和七年正月元旦

會商田勝

MEXICO 1474 - U.T. 58 MAYO 2313

GRAN TINTORERIA
Y TALLER DE
LAVADO Y PLANCHADO

賀正

橫濱洗濯店

“EL YOKOHAMA”

上久保文吉

CAJA MATRIZ

BRE MITRE 2511 - U.T. 47 CUYO 7159

SUCURSAL RAMON FAICÓN 2376

FELIZ AÑO NUEVO

1932

BILLARES

1932

“BRUNSWICK”

Material preferido en las casas
de primera categoria

VENTA A PLAZOS

SIN RECARGO DE PRECIOS

CANGALLO 1818 - B. AIRES - U.T. 47 CUYO 3018-9

S. TSUJI

謹賀
新元

昭和七年

正月元旦

辻商店

BALCARCE 682
U.T. 33 Av. 5744

謹賀新年

EL YAMATO



TINTORERIA, LAVADO Y PLANCHADO

瀬尾和太郎

LAS HERAS 1937 - U.T. 44-JUNCAI 5091

TINTORERIA
BOTAFOGO
DE
K. FUNAY

DESEA A SUS DISTINGUIDOS
AMIGOS Y CLIENTES

FELIZ AÑO NUEVO
1932

CAJA MATRIZ
ENTRE RIOS 215
U.T. 38 MAYO 7740

SUCURSAL
JARMIENTO esq.
RIO BAMBA
U.T. 47 CUYO 0984

TINTORERIA "FUJI"
(SUCURSAL)
ENTRE RIOS 557
U.T. 38 MAYO 0488



EL "TOKIO"

GRAN TINTORERIA Y TALLER DE LAVADO Y PLANCHADO
DE ADOLFO K. OTSUBO

CASA MATRIZ
RIVADAVIA 5209
U.T. 60 CABALLITO 4738

大
坪
喜
義

正
月
元
旦

賀
正

SUCURSAL
ACOYTE 60
U.T. 60 CABALLITO 4719

BUENOS

AIRES

TINTORERIA BELGRANO
DE DOY HIJOS

CASA MATRIZ
RIVADAVIA 11336 - U.T. 61 LINIERA 619

SUCURSAL N°2
RAMOS MEJIA
F. C. O.
BOLIVAR 85

土
井
兄
弟

正
月
元
旦

賀
正

SUCURSAL N°3
ARTES 61, HAEDO
F. C. O.
U.T. 69 HAEDO 112

CAFE TOKIO

M.K. MIHURA & Cia

CASA MATRIZ MERCEDES F. C. O.
(U. T. 191)

SUCURSAL N.º 1 JUNIN F. C. P.
(U. T. 198)

SUCURSAL N.º 2 LUJAN F. C. O.
(U. T. 100)

SUCURSAL N.º 3 PERGAMINO F. C. C. A.
(U. T. 150)

謹 賀 新 年 正 月 七 日 幸 甚 昭 和

カフエ東京

本店 メルセデーヌ市 (電話 一九一番)

支店 フニン市 (電話 一九八番)

支店 ペルガミノ市 (電話 一五〇番)

支店 ルハ市 (電話 一〇〇番)

金子 三浦 水野 穴戸 菅野 菅野 春雄 良吉 義平

三浦合資商會

TINTORERIA "SATUMA"

(CASA MATRIZ)

DE M. T. TURU & H^{NO}

CALLAO 1325

U.T. 41 PLAZA 2097

恭賀新年

TINTORERIA

"EL MAÇON"

(SUCURSAL)

SANTA FE 2758

U.T. 41 PLAZA 3934

水流
全庄
武吉

B. AIRES

謹賀新年

昭和七年正月元旦

御料理
御旅館

昭起館

杉本春松

コリエンテス街二五二九
電 クーヨ：八七六三

CORRIENTES 2529
U.T. GUYO 8763

1932 FELIZ AÑO NUEVO 1932
CAFE "SAN MARTIN"

DE
S. SAKAMOTO Y CIA

全	寺	全	坂	寺
	田		本	田
恒	義	エ	俊	秀
雄	雄	リ	一	吉
		サ		

JUNIN Y CORDOBA - CORRIENTES

JAPAN BAR

CAFE Y DE MINWA HIGA BILLARES

J.B. ALBERDI. 90, SALTA, F.C.C.N.A.

比
嘉
民
和

サル
タ
市
ジ
ヤ
パ
ン
バ
ル

昭
和
七
年
正
月
元
旦

賀
正

SADAO HATTORI

IMPORTADOR

ESPECIALIDAD EN ARTICULOS DE
CEPILLERIA

FELIZ AÑO NUEVO

~1932~

賀正

正月元旦

服部定雄

市内リニエルス街 六四九
電話 ロリア・三 二一八

LINIERES 649-B. A. - U. 1451-RIA 3218

年頭の辞に代へて

日一月一年七和陸

報時丁然尔亞

号六十九百三第

清新の氣に満ち、新むる希望を抱いて、茲に昭和七年の新春を迎へ、再び諸君と相見ゆるは吾人の欣快に堪えざる所である。先づ新年の賀詞を呈し、諸君の健康と福祉とを祈るものである。

新春の賀詞に當つて、祖國の現状を顧るに、内外多事にして、幾多難題なる問題が密集してある。世界の視聽を集めたる滿蒙事變の解決は未だ前途瞭然として、將來如何に展開せんや、容易に豫測し難く、之れが対策の巧拙如何に依つて、日本の國威は一段昂まらざるや、或は先墜するや、決定さるべく、帝國の外交は重大時機に直面して、あることが痛感せられる。

これを内政に見るに、最大の困難は經濟問題である。所謂經濟困難を叫ばれてより既に数年を経たる今日、依然として窮境を脱すること能はざるのみならず、却つて益々深刻の度を加へる。國家の財政は危險に陥り、國民經濟は破壊されんとする。次に思想問題といふ病患がある。生まのまゝ輸入されたる外來の新思想は、まだ我々國民によりて充分消化せられざるが爲に、一般的思想界は病的症狀を呈し、旧思想の羈絆力は漸次薄弱となり、つゝありて、國民は其の堪へ所に迷ふの狀態に置かれてある。如斯く則ち何れの方面に於ても、幾多の難題に逢着して、あるが先覺は之れを以て「國難」と叫んでゐる。然し乍ら吾人は國難の發の来るを候る、ものではある、希ふ知は寧ろ更に大なる試練時代の來らん前である。如何とすれば危機内外に迫り、國家興亡の分る、時、日本精神は國民心理に廻り、果して進んで難局を打破すべきを疑はざらざらである。

纏つて在る亞同胞の活動狀態を觀るに、現下の不況に辟易することなく、各方面に向つて相当健實なる歩みをつづけ、あるは、洵に心強き感を抱かざるを得ない。

由來物質的豊裕さは稍もすれば、人々を驅つて安逸の生活に慣れし、之れに及し、困難窮迫の時、人同は其本性に立ち寄り、屢々偉大なる精神力を發揚するものである。此の意味に於て、不景氣の現時こそ各人其の眞價を發揮するに、絶好の機会といふべきである。即ち逆境に處する者、其の力を欠き、欠乏に堪へ得ざる者は、衰へ、窮途の道を悟り、挺身難關に當る者は、必ず盛衰を屈折し得るのである。

感更まりて一年の計を樹つるに際し、吾人は聊か所懐を叙して、年初の辞ともし、茲に筆擲くに當つて、切に同胞諸君の健闘を祈つて止まないものである。

目次

年頭の辞に代へて	一頁
ドラゴ主義と滿洲事變	二頁
夏雲の斷層	三頁
海運雜話	四頁
ダンゴ「蹉跎」の唄	六頁
滿蒙權益と滿洲事變の真相	七頁
救濟方を講義したと云ふチヤゴ入植者の現状	十一頁
ミンネス官有地への入植方法とその資金に就て	十三頁
矢崎画伯の藝術	十六頁
世相の様々	十八頁
神の存在に就て	十九頁
「ダンゴ・アルヘンライ」を語る	廿頁
迎懐	廿三頁
落伍者	廿七頁
夜は狂ふ	廿九頁
詩歌	卅一頁
雜報	卅三頁

ドローゴ主義と満洲事變

海軍大佐 雪下勝美氏談

ドローゴ主義 (Doctrina Dragomanova) とは、外國に財政上の義務を履行せしむるため兵力を用ふるべからずとドローゴ博士の主張を云ふもので、即ち借金取立のため兵力を動かしてその履行を迫るべきものでないといふ事である。

今國の満洲事變に於て、日本は鐵道に多額の投資してゐるが、一面支那の義務を履行せぬがらと云つて兵力を以てその鐵道を占領すると、塩税を差押へるとして、何等にせよ兵力を動かして財政的義務を強制するのは、一部に於てラテン・アメリカ主義に及すると、グアテマラ代表マートス氏が聯盟に於て主張したものである。

又外國に於ける自國民の生命財產保護のために兵力を動かす事も國際法に違反する行為である。これはドローゴ主義の主張ではないが、ラテン・アメリカ諸國が北米のニカラグア本兵に對して極力反對したのも、この生來ラテン・アメリカの主義に及するがらである。論じ、この二つの論據により、ラテン・アメリカ諸國が國際聯盟に於て、今國の満洲事變に對して主張してゐるのは、日本に對して注目すべき事である。

この二つの主張は成程尤もな事であるが、吾々日本人の立場としては、支那は完全なる獨立國と稱する事が出来ず、歐米人同様に「支那」とは何をいふか問題も時々起る位で、歐洲や南中米諸國の完全なる獨立國とは同一に律する事は出来ないのである。支那及び日本の満洲に於ける地位と云ふものを充分理解すれば、ドローゴ主義なるものは日本に適用出来ぬ位位は判る筈である。

しかし、ラテン・アメリカ諸國が北米に對する立場からこれを爲すに於けるのも、知れぬが、これは日本にとつて、陸軍を以て、南米に於て半可通なる人々に對し、何等の遺憾を懷かぬのは、日本としては、遺憾至極なる事である。ラテン・アメリカ聯盟理事會最終會議に於て、今國の満洲事變は特別のもの、將來國際法上の前例には見ても明らうである。この問題が、この儘で消滅する事とは、別段何事もないが、ラテン・アメリカ諸國が、今後、この議論を常に唱へ、若し満洲問題が再び起り、ラテン・アメリカ諸國に於て又、この論が持ち上つた時、日本は悪し印象を與へ、南

中米諸國との關係を悪化せしむるものである。在留民間に於てもよく注意して、何等の誤解を解くやうにせねばならぬ。我輩は最初北米のニカラグア出兵問題に、就き、ラテン・アメリカ諸國が極力反抗し、あつたのは、痛快ではあつたが、満洲事變をこれと同一視して、日本の主張を没却せんとするのは遺憾な事である。このドローゴ主義問題は、當國に關するのみならず、中南米諸國全部の問題であるが、相當重大性を帯び、グアテマラ、ニカラグア、ペルー代表が聯盟理事會で主張するに止らず、その範圍も広いから、實に日本は不利な立場に立たねばならぬ。眞に憂ふべき問題である。我輩が海軍人として何故このドローゴ主義を憂ふかと云ふのは、將來に於て日本が或る國々でも戦争する事があれば、政治大戦の例に徴して、二國と一國との戦争に止らず、全世界に跨るやうな事になるから、才三國の好意的中立の態度は全般に非常な好影響を與ふるものである。例へば日露戦役に於て、露國のバルチック艦隊が東洋まで来たこと、本國の好意的中立が、あり、海軍根據地まで貸した事、艦隊が智利沖で英國艦隊を撃破したのも、南米在任の獨逸人が盛んに活躍して、無線電信にて独逸艦隊に報告した事に依るものである。

若し將來支那問題が原因して日本が戦争でもするといふやうな場合に、今國のドローゴ主義が問題となつて、ラテン・アメリカ諸國の反感を招き、好意的中立の態度を持たないときは、日本は非常な不利な立場になり、従つて思はぬ所で損失を受けるやうな事が出来ぬとも測り難く、この中南米諸國のドローゴ主義の適用と満洲事變とは全々別個のものであるといふ事を、飽達南米諸國に理解せしむる事が、在留民間として肝要なことである。我輩も先日、ラ・フランス紙の主筆に面會してこの問題に就いて充分説明して来たが、在留民間にもよく注意して頂きたい。(終)

〔在文責記者〕

謹賀新年

正月元旦

大山綱國

謹賀新年

正月元旦

雪下勝美

夏雲の断層

(二期産業革命)

木猿子

休戦後連年亘つて流轉して来た世界の恐慌が近年になつて一段と深刻化し、陰惨な様相をとつて来た。一九三〇年後半に於て最も深刻に農業園に沈淪した斯の不況は、更に原料園以外工業園へも移動して、独占資本の支配分野にも危険は明日に現れて来た。

従而今や世界恐慌は單に農業諸國の破綻や金の偏在に基くものでなくして、独占資本主義経済組織それ自身のもつ基本的矛盾の曝露であり、如何なる組織化せられたる資本主義の力も斯れを決定的に解決し得ぬことが確証されるものであると云ふ意見も相当ハ全しく叫ばれる様になつて来た。同時に経済的危機は政治的危機へと上昇し始めた。斯の深刻さは各方面に亘り、何人によつても否定せられ得なくなつた。

一部の識者に称へられてゐる。封建制度を打破して成立した近世資本主義の産業革命、即ち生産過程の变革を中心として進展して来た第一期産業革命に対し、二期産業革命の特質は、流通過程の变革を其の枢軸とするものであると云ふ。

斯の異常の底、急激の变革を評して約一世紀前に完成された所謂「産業革命」——近世資本主義の成立に対して「オニの産業革命」

と一部の識者に称へられてゐる。封建制度を打破して成立した近世資本主義の産業革命、即ち生産過程の变革を中心として進展して来た第一期産業革命に対し、二期産業革命の特質は、流通過程の变革を其の枢軸とするものであると云ふ。

簡單に換言すれば、広い意味の流通過程及び社会的分配組織の变革を其の著しい特徴とする。現在の様子は、眼前の事象に眩惑を経験する時は、眼前の事象に眩惑され、其れが何を意味するに、之に直面すればする程、其の真相の認識から遠ざかるけれども、何れにせよ、其の陰影を捉はずにはおつた。

映とし、急激に没落しつつある資本主義断末魔の兆きである。論断して居るが、事實の進行を忠実に公平に見守るものは、急激の没落は急激の变革にすぎぬことを認識し得る。換言すれば、資本主義の断末魔の兆きではなく、其の变革の兆きではなからうか。

吾々は斯の陰影を踏みづけることによつて、其の本体——オニの産業革命を斯の嵐の中から抽出することが出来ぬ。所謂左翼の連中は斯の陰影の状況を以て、資本主義の憎むべき反

流通過程を枢軸とするもので、其の特質は、人、仕事、仕事、機械と機械、企業と企業、需要と供給、等、凡そ是等の間に於ける相互の連絡又は組織を合理化することこそ、産業革命の中心問題である。

即ち、従来の狭い企業内の合理化を脱出して、社会組織の合理化であり、放散する一部の営利の活動にのみ放任された従来の産業組織に對して、国家社会の利益のために公正なる統制を之に加へんとする。是に近代の合理化運動の重要を發見せねばならぬ。

現在の吾々は、斯の急激の嵐の中に、産業革命の推進力は恐ろしい圧迫と不安と焦慮と陰惨な形勢を吾人に投げつけてゐるが、斯れは決して既成経済組織の没落期でも、又は資本主義の断末魔でもなく、放任経済より統制経済への進歩、变革の途上に伴ふ混乱の極であり、近き日一陽、春の曙光に産業革命到達の日あるべき華を確信するものである。



(終)

謹賀新年

正月元旦

西野七子

謹賀新年

正月元旦

立藤金也

謹賀新年

正月元旦

在東京
大林多吉

謹賀新年

昭和七年正月元日

大垣俊雄

内藤鶴雄

高橋坂衛

在
重
日本會

浅野政吉

椋野國勝

石川芳範

日本小學校

仲間平助

北川稔

河野通盛

在
重
農業研究會

廣瀬寛治

川北平太郎

三島定志

日本庭球俱樂部

上桶俊一

桐原茂雄

萩野定男

在
重
蔬菜園藝
同業組合

本田儀平治

本田次郎

羽生兄弟

在
重
日本園藝會

謹賀新年

昭和七年正月元旦

伊藤清藏	山本栄治郎	日高喜作	紅白俱樂部
本間鐵雄	原田靜雄	河野慶治	在亞日本人 自動車運轉手協會
門田勇吉	松原隆治	脇水鐵彌	日本 少年蹴球團
崎間麗德	福田勝市	東利作	在ミシオネス 北進會
山本喜平	兒玉貞次	岡田領治	在チマコ 日本人棉作 協會組合
太田千代繁 小林義茂	上田平作	石原生	

謹賀新年

昭和七年正月元旦

松井完爾	齊藤彦藏	佐藤貞次	西岡一秀	後藤貞彦	能勢忠平
原田四郎	石井白帆 <small>ロサリス市</small>	上村清市 <small>ロサリス市</small>	西久保喜一 <small>ロサリス市</small>	松本清次郎	請村常次郎
大井得二	星野留造	門村真一	岩住玄伍	橋口喜平	有田龍雄
桐原茂 <small>ベルグイージエ</small>	ペドロ小園	渡辺安治	吉田富	梶本儀平	坂本新吾

謹賀新年

一月元旦

山崎次郎

謹賀新年

一月元旦

宮腰千葉太

謹賀新年

一月元旦

芝崎彌額爾

芝崎彌額爾

賀正

一月

元旦

日存野球園

海運雑話

大坂商船株式会社
ブリス・アリス支店長
家坂 喜

例によつて海運雑話であるが、筆の
まに、何を書き出すか判らぬ。股
線は豫め御承知置願いたし、
世界戦争終結後十三年を経過し
た一九三三年の新年である。今年こそは
一陽来復あれと祈る次第だが何分
も目先好材料も少く世界海運
界も亦憂まれさうで不況呻吟。俄
かに樂觀を許さず、従つて石油、鉄
材、造船業、船舶関係業者等々に至
るまでも繁栄する筈はないと云ふの
が同輩のよい言ひである。

海運界の消長は世界通商貿易に
左右され然も甚だ敏感なバロメータ
である。最近の出来事でも、フーバー景
氣から初まつて労働問題、各産業操
短機和問題、銀價騰落、英金本位制
停止、金再禁輸、滿洲事變等々々々
其他天下萬端の事象は荷物にも船客
往來にも悉く影響するから、まご
しちやいられない国際的の概敏を要
する商賣である。然し確実性を帯び
た水商賣史に世界の一角に悪い事
が起つても他の隅々に好影響がある
といふ様に沈淪し切らぬにシッピッ
グの妙味がある。

吾等業界の長老ジョン・ブルガロ
に謂ふ *The wind that blows
no good* の類な。
面白くない専門的の海運談は一切抜
きにして、最近の事件で記憶に残つて
るものをかいつまんで書き綴るとしや
う。

- 一九三一年のロイド・レヂスターから拾
ひ上げた統計によると世界各國
所有船舶総数は六千八百万余総噸で
三百萬噸以上の所有國は左記の通りで
ある。
 - 第一位 英國 二千九百四十七 (總噸數)
 - 第二位 米國 千四百六十七 (〃)
 - 第三位 日本 四百七十六 (〃)
 - 第四位 獨逸 四百六十六 (〃)
 - 第五位 諾威 四百六十二 (〃)
 - 第六位 佛國 三百五十三 (〃)
 - 第七位 伊太利 三百四十四 (〃)
 - 第八位 和蘭 三百一十七 (〃)
- 独 諾兩國の躍進すまじく、日本に
及ぶる事独逸は僅かに五萬噸、諾威
二十一萬噸といふ如き増し付けて未だお
る。

佛國、伊國、日本であるけれども一九三
二年の暮には大分変化があらう。
下序一九三二年末の世界船舶總噸數
は約八百萬噸と算せらる。
暑苦しい数字などは此位にしてお
くけれど、憂鬱苦惱の氣にとゞざれて
る海運界だからなりせぬ事は、お
が、其の中で最も驚異を惹起したも
のは英國関係だけでもロイヤル・マ
の崩壊、キルサント卿の失脚、ホワイ
ヌのモラトリアム、英金本位制停止
による世界運賃標準建値の変更、キ
エナード豪華船七万五千噸の建造中
止等々である。然し北米は莫大の
航海補助金を支給して自國貨物
の輸送を高唱し、佛伊兩國は政府
の後援で優秀船建造に奮起し、
海の伯樂スカンヂナヴィア海運は此
不況にも不拘新造船注文を湧發し
、豪華船も案外といふ謂はれておる様
事も存在してゐる。獨逸である日
本は常に海運商船の絶ゆる暇なく
油断のからぬ新造船運國として世界
をビクつかしてゐる。南米各國海運
はともにお話しにならぬ貧弱さで
あるが沿岸法で自國內の貿易を
保護したり、自國海運といふ事には競
争自覚のおおる様子が見える。
海運の王座を占むる英國の苦境振
りは予想外の様子で、どをしまの難
関を切り抜けやうかと業界の大立
物が鳩首相談に耽つてゐる様子で、英

船主間には英國船舶噸數は英所有
船舶噸數の約一割五分だから、英船の
荷物積込量も一割五分を減じやうと
いふ所謂假同積荷制限案といふ
ものを論議してゐる。如何
に當面の採擇に努力してゐるが、疑は
れる次第である。
時々物運の事をやつて世間の耳目
を散たしめるのは防農ン・ウイ・エ
聯邦である。造船五年計画は失
敗であつたが、英伊等の海運國に対
して長期取引による買船交渉をや
つたり、バルチック海と黒海に八隻の
船隊を浮べる計画を発表したり、免
角をへさせる様子をやつてゐる。
日本に対しても五千噸内のクレヂット
設定条件で船舶、鐵道材料、化学工
業品購入の正式商談を持ちかけ、全
時に曹達、原油滿掩等の賣込も運
動したが、結局どうなつたかはつきり
記憶して居ないけれど、賣船問題は日
本側で労働式タンピング配船をやら
れてはゐるといふので、断然賣却せぬ
方針であつた。
世の中が不景氣だと遊山気分にな
る人も減り、且つ緊縮節約時代の
爲めに旅行なども避ける傾向があ
るので、客足甚だ減つた。本西洋航
路各優秀船も四苦八苦の状態であ
る。
一九三三年如女航海に上る予定の
キエナード超巨船七五〇〇〇噸型も

謹賀新年

正月元旦

岩崎次郎

賀正

横堀三四

賀正

竹原太郎

建造中止され、C.P.S.のエンプレス
ブリテン号を初めとして、優待客船
が世界巡遊其他へ出稼するものも
出する状態である。

世界快速優待客船スピード競争状
態はキエナード社の建造中止により
大西洋のD.L.M.のD.L.M.は依然とし
て独逸船オロンバ号が握つてある。太
平洋航路の快速記録は傳統的にC
P.S.が把持して仲々放さない。当
分奪取するのは困難であらう。

たゞ日本—紐育間の大阪商船紐育
航路貨物快速船後内丸型三隻が
握つてある。快速記録は断じて他社
に譲らず、更に二隻の新鋭を加へて
内容充実する事とされてゐる。

太平洋航路の船客優待設備では
郵船同丸型が頂張つて見たが、
新女王ワレンティン号、ワヘー号、
のぞ屋線船と太平洋上に航し出し姉
妹船ワレンティン号も航船されるといふ
から日本に対しては、大敵の出現であ
る。

佛國はやたらに巨船優待船を建造
してゐる。佛國のイルド、フランス
号(四五〇〇ト)、パリス号(三四五〇ト)
共に先達で当地へ航した。ラト
ラン、オックス号に引續いてシムロン
号といふ巨船を運水させるやうであ
る。長輪大西洋航路の競争競争で
ある。

伊本利は超巨船レクス号運水をき
つかけに五万トのコンチ、サズオイア号
を運水させ、又六万トの巨船を建造
する事となり、物凄く優待船建造
競争でムソリニエ式である。

世界海運は不景氣だといふが、
巨船競争船建造を矢張り早や
実行する景氣の好い話もある。
これは失業問題解決も少しは加味
されてゐるであらう。が、歐洲各國が
自國海運の發展商權擴張といふ
事に就て、大の如くなつてゐる証據である。
世間一般がつまり、時に空外つたらふ
がホクくしてゐる場合に、諸つたり人
がたたりする場合は、あるのは國際的
で、ビヂマススの範圍が広大無辺なシ
ンピングで、干乾びた船株が時々上騰
するの、も確實性のある水商賣の平性
である。あつちを交遊してゐるのである。

穀物といふ大商貨物移動により
世界的に有名なバネポート海運界
も兎に角一九三一年は強張つて突張り
進み、新小麦の出産期を叩いた昨
今は又々強含みと示し、在力のある
事を手して居る。

海運と云はず貿易といはず凡ての
産業に臨視せらるゝものは、各國關稅
障壁の建造、自國的關稅政策であ
る。各國經濟家が最盛にして貿易上
の障壁撤廃を主張し、凡そ世界不
況打開のための自由通商を提唱して

るのは無理からぬ事で、眞剣に其
の實現に向つて邁進せねばならぬ筈
である。關稅は相對的の存在だから
一國だけの關稅輕減は絶対實行不
可能だ。即ち單行不可論論を
唱へる者もあるが、論者の眞意は自由
通商によらねば不況打開困難は自覚
してゐるに相違ない。種々ある立場と
環境に支配されて實行したり、賛成
したりする事が出来ないのであらう
と窺はれる。亞然然丁國の如きも自
國關稅政策は棚に上げて英米に対
して關稅障壁撤廢を強調してゐる
のも一寸矛盾である。

丁林、和蘭、瑞典は自由通商國で、
相當繁榮してゐると記憶するが、ど
うもあの辺の國では仲々進んだ事を
早々実行してゐる海運國がある事に
對し、敬意を表する次第である。

ソコ、ソコ、つらつら不景氣話に
なりやうだが、此れ位で切り上げる
が、最後に海の問題として、吾々が目
を見張つたのは、インヴァロルドン破
油中の英國大西洋艦隊所屬乗組員
が、津傳反對を就役拒絶、放棄高島
して、急行行爲をやつたといふ英海
軍空軍の珍事である。智利の海
軍革命のやりかたならうかまける
が、いやしくも海軍の王座におはし
ます英國海軍だから驚き入る。英
海軍の建額により世界に散在する

英領の存在が最存され、丁史と規律
の矢蓋敷い大英海軍の出来事だ
から、つくりするものである。
海の問題も中々六ヶ敷くなつてきた
ものである。長閑な陽春の潮に乗つ
て、瀬戸内海を、あちこちから、終々自適と
船遊山してゐる様、事は、つり考へ、ちや
いらね、つり考へ、ちや

<p>英領の存在が最存され、丁史と規律 の矢蓋敷い大英海軍の出来事だ から、つくりするものである。 海の問題も中々六ヶ敷くなつてきた ものである。長閑な陽春の潮に乗つ て、瀬戸内海を、あちこちから、終々自適と 船遊山してゐる様、事は、つり考へ、ちや いらね、つり考へ、ちや</p>	<p>謹賀新年 正月元旦 家坂 喜</p>	<p>賀正 岡島元七郎</p>
<p>賀正 高桑 讓</p>	<p>賀正 宮岡謙二</p>	<p>賀正 吉橋好太郎</p>
<p>賀正 松田五郎</p>		

UN TROPEZÓN

- TANGO -

1

Por favor lárgueme agente
 no me haga pasar vergüenza
 yo soy un hombre decente
 se lo puedo garantir,
 he tenido mal momento
 al toparme a esa malvada
 mas no pienso hacerle nada
 ¡Para qué! ya se ha muerto
 [para mí.]

Y una vez más razón tuvo
 [el refrán]
 Fui un gran otario para esos vivos
 pobres don juanes de cabaret
 fui un gran otario porque la quise
 como ellos nunca podrán querer.

2

Un tropezón
 cuarquiera da en la vida
 y el corazón
 aprende así a vivir.

4
 Lévame no más agente
 es mejor que no largue,
 no quiera Dios que me amargue
 recordando su traición
 y olvidandome de todo
 a mi corazón me entregue
 y al volverla a ver me ciegue
 y ahí nomás.....
 Lévame será mejor!

3

"Dentro" su barro la saqué un día
 y con amor la quise hasta mi alzar
 pero bien dicen que la cabra al monte tira

LETRA: Bayon Herrera

MÚSICA: Raúl de los Ríos

放りて查公は、そご放せ
 查公は被免して受れ給へ
 他目もあるに恥かし
 俺はこれでも一ツこの
 たしなみ分別ある男
 あんが不貞女と出喰はし
 腹立しくも忌々し
 赫つと念怒の途み上げマ
 耐らへかねたる俺れなれど
 もう手出しする気は更にない
 何んの手出しぞ！莫迦々々し
 俺のためにはあの女
 死んで仕舞ふたものだぞよ.....

あんが女に惚れ込んだ
 俺はよほどの同衾者
 恋も情けもわきまへぬ
 カバレ遊蕩のドン・ファン
 奴等の眼から見たならば
 俺こそよっぽと同衾者



查公は俺を連れも行け
 赦して受れるに及ばない
 ゆるして貰ふは身の不祥
 哀切り女にくよくよ
 思ひ悩んでゐるよりも
 俺はすてを忘れ去り
 気を持ち直し、戀し
 すつかり入れ換へる心ざり
 若しも再び被女をば
 俺が見るよふ事あらば
 天罰當つて眼も眩らめ.....
 查公は俺れを引立てろ
 うアア俺れを引き立てろ.....
 (おわり)

蹉跌の唄

タンゴ

浮世の味の酸いせい
苦づい辛らうと解かるもS.....

バヨーン・エレーラ作
 ラウル・ロドリゴス・オリョ作曲
 濺谷源助邦譯

時事解説

滿蒙權益と滿洲事變の真相

谷口萬年

一 滿蒙と漢族との歴史的関係

支那興亡五千年の歴史を鑑み、現代中国に覇を唱ふる漢族は、黄河の流域に興り、黄河を中心として活躍し、それより南下して揚子江に達し、今日の支那十八省を構成したるもので、滿洲蒙古は全々別個の地域にして漢族固有の領土ではなかつた。

萬里の長城以北は辺土と称し、漢族とはその人種風俗を異にする蒙古族である。支那史上に於ける、匈奴を初め、滿洲族蒙古族はこれに代表され、征伐し、秦恒公、管仲をしてこれに臣せしめ、秦の始皇帝蒙恬をして長城を築かし、漢の武帝深く辺土に入り、匈奴を遠く中央亞細亞に追ひ、各朝各代漢族は或る種の侵入に悩み、終つて三千年間滿洲及び蒙古一帯は女真(滿洲族)高句麗、渤海、遼(契丹)、金等と全く別個の國家を構成して、漢族と直接關係がなかつた。十二世紀中葉蒙古の成吉思汗は、漢族より興り、孫の忽必烈は、中国を征服し、天下を統一し、十六世紀末葉滿洲族は、愛新覺羅を奉じて滿洲を統一し、都を瀋陽(奉天)に

奠め、後支那本土に侵略して天下を統一し、都を北京に遷して清朝を創設したのである。

當時滿洲族は人口漸く百万社に達し、甘肅に過ぎず、清朝は四億の民を統御するたの、滿洲族を移住せしめ、壯丁をして滿洲八旗を組織して警備に任じたが、郷土滿洲を保護するため、封禁令を發して他民族特に漢族の滿洲移住を嚴禁し、山海關に關所を設けて警戒したのである。

康熙乾隆兩帝時代にはこの封禁令はよく行はれ、滿洲は無人の境として一世紀置かれたのである。

清朝の威令漸く衰ふるや、封禁令を犯して滿洲に移住したるものが増え、東より朝鮮人、南より漢族、これに高非帯ふる影響を蒙つた。露國は發理條約(一八五八年)以前、漸次南下策を講じ、北滿を支配し、東に對して封禁令の一切を解除し、漢族の移住を許して、より進歩に漢族は滿洲に移住し、歸人も亦同時に全滿に拡がり、現在に到つたのである。

ア史的に考察して、現在滿洲を構成せる人種は、本来の滿洲族以外に、移民式に入國した漢族及鮮人にして、南京政府は滿洲を自領なりと擴張し、鮮人及び日本人を優遇主義として、これを排斥し得ざるは明白なる事實である。

二 支那人の國家觀念

地圖面に於ては蒙古、西藏は支那の領土に属するが、蒙古は支那中央政府の支配を受けず、外蒙は軍内政まで露國の支配を受け、露國人は自由に蒙古に入出し、西藏に於ては、當然同國人たる支那人の自由を禁止して入出し、統治權は喇嘛教の重頭これを總領し、支那政府の意志如何は絕對に認められぬのである。

支那に國境線の存在なき以上、國防の必要もなく、唯各軍閥は各省に割據し、私兵を擁して、私闘を争つるに過ぎず、一國の元首たるものは存在しないのである。

袁世凱も孫文も蒋介石も、單に一個の軍閥に過ぎず、支那の大總統と稱するものは、南北に於ける大總統の如き完全なるものではない。

これは、蒋介石の威令の及ぶ所、揚子江流域の一部にして、滿蒙は南京政府の支配外である。

南京政府は支那代表として、代表を國際聯盟に派遣してゐるが、實質上支那全土を代表してゐるものではない。

即ち、支那は改米諸國の如き完全なる獨立國たるの體面を有せず、外蒙は露國の保護國であり、西藏は喇嘛の領土であり、又滿洲は張作霖の領土であり、支那は、支那の領土に、支那の人民を、支那の政府の完全なる領土として、支那が完全なる獨立國家たるの體面を有せざる以上、支那人に國家觀念なきは當然の事である。

古來支那人は、征服者、民と稱すればこれに服し、誓すれば天命を奉むとの思想より、その支配者は漢滿蒙族何れにせよ可なりである。

然して同族にあらざる外國人であつても、可なりとの主義で、列強の租借地に於ては、自國內より生命財產の安全性あれば、この保護を甘受せんとする傾向がある。

又支那本土の住民は兵亂絶ゆる時、支那軍閥の苛斂誅求の苦を避けて、滿洲に移住するものも、滿鉄沿線には常に日本の駐屯軍が嚴然としてその保護に任ずれば、安んじてゐるのである。

これ支那人には國家的觀念を缺き、生命財產の安全性を保證せざるは、他の他の望は、ない。

あるから、殊大回國權回復の如きものは、一部の政治家、又ハ空想論者の、學生等輩の爲に、なさんとすの宣傳にすぎず、支那四億の民の關係する所ではない。

謹賀新年

正月元旦

相部善次郎

喪中

欠年未年始禮

長嶺直哉

三、日本の滿蒙權益

(一) 權益獲得の歴史

露國は十六世紀以来の不凍港獲得政策は西比利亞より漸次南下し、北滿を圧迫し、南滿を露骨に表し、日清戦役の遼東半島日本への割譲に対しては、佛と共に三國干渉を行ひ、その代償として清國より東清鐵道の敷設権、旅順大連租借権を獲り、南滿洲鐵道を敷設し、旅順に要塞を築き、北清事変には專断を執り、南滿を占領し、遼東半島を韓國まで延ばし、森林伐採権を得、暴威を東洋に振はんとした。

当時清國政府は一片の抗議を申すに力すらなく、事實上露國は清國を無視して勝手に統治下に滿洲を置き、住民の生命財產は保証せられなかつたのである。

茲に於て日本は東洋の平和國家自衛上、明治廿七年のニケ年と及んで國運を暗して露國の勢力を東洋より駆逐し、東洋の平和を確立し、清國の爲の領土権を回復した。その代償として得たるのが即ち滿洲の特殊權益である。

日本が日露戦役に巨萬の國帑と人命を犠牲にして得た權益として、僅少なるものにて、英の海峽、獨逸の膠州灣、佛の廣州租借の滿手に粟式の易々たるものに比し、如何にその犠牲の大きかり。

(二) 我權益とは何ぞや

滿洲權益は日露講和談判たるポーツマス條約に依り、露國より讓渡され、後清國の同意を得て成立したる相對的條約で、決して片務的ではない。

一、南滿洲鐵道及び安奉線經營權
二、南滿洲鐵道併行線敷設拒否權
三、滿蒙四鐵道借款權
四、吉金銀借款權
五、南滿、東蒙古に於ける居住權及び土地商租權
六、關東州廿五年租借權
七、南滿及び東蒙古の鉱山採掘權

八、南滿に於ける顧問應聘の優先權

(注) 關東州租借は大正四年に廿五年を九十九年間に延長)

(三) 支那の我權益蹂躪

滿洲平行線拒否權は明治三十八年十二月北京に於て設定せられたのであるが、明治四十年頃英國ポウリング商會に清國は、法庫門—新民屯間の鐵道敷設を許し、四十二年米支合辦に依り錦州—愛理間の錦慶鐵道の豫備設定

を行つたが、兩者共に日本の強硬なる反對に實現に到らなかつたが、大正十五年、日本の抗議を馬耳東瓜に聞き流して、沈陽線(日本受買)を更に瀋陽(奉天—海龍)、吉海(吉林—海龍)兩線を敷設し、最後は滿鉄と提携するたの打通線(打虎山—通遼)を建設して滿鉄の貨物を奪ふに到つたのである。

(四) 葫蘆島築港

滿鉄平行線敷設と共に支那は大連の繁榮を奪はんとした。大連輸出貨物に二重關稅を課すと同時に葫蘆島(連山灣)に巨費を投じて五年計劃の一大築港を建設し、遼河の河口に莊及北(營口)の對岸)を浚渫して数千噸の船舶の出入を自由にし、滿洲の貨物を集散せんと計畫したのである。

(五) 滿蒙四鐵道借款權の蹂躪

大正二年日支間に五鐵道敷設條約により、大正七年(一)同原—海龍、(二)吉林—長春—洮南、(三)北平—熱河、(四)北平—熱河間より某海港に至る間、右記地點に鐵道建設の決定を結んだが、支那は前記の瀋陽—海龍線と連絡して、打通北寧兩線と連絡して、滿鉄の利益を全く奪ひ、大瀋威を興へたのである。

又吉金銀(吉林—朝鮮會同)は日本の借款權を無視して今日までに數化まで敷設してそれ以上延長せず、そのまゝになつてゐる。

(六) 商租權の侵害

土地商租權は南滿及び東蒙古各地に於て商工業又は農業經營のため必要なる土地を商租する事を得、大正四年條約によりその權利を認められたのであるが、その後支那は徵辦國賦條例を制定し、租りに外國人と契約して本國の權利を損害したるものは賣國罪として死刑に処すと規定し、個人間の自由契約なる土地借地權を政府が干渉し、日本人に權力を迫を加へたのである。

特に最近重大なる結果を惹起した萬宝山事件は商租權侵害の甚だしきものである。

(七) 排日運動及日貨排斥

日貨排斥及排日運動は支那全般に亘つての年中行事となつてゐるが、近年特に甚だしきは、小学校、中学校の各科の教科書に於て排日教育を鼓吹し、打倒帝國主義、侵略主義をスローガンにして、小國民の腦裡に深く日本を増悪せしむるの念を起さしむる事は、實に國際法上より人道上より許すべからざる暴挙である。

戰爭が國際平和を攪乱する行為ならば、排日行為も間接的に國際平和を攪乱する行為である。

恭賀新年

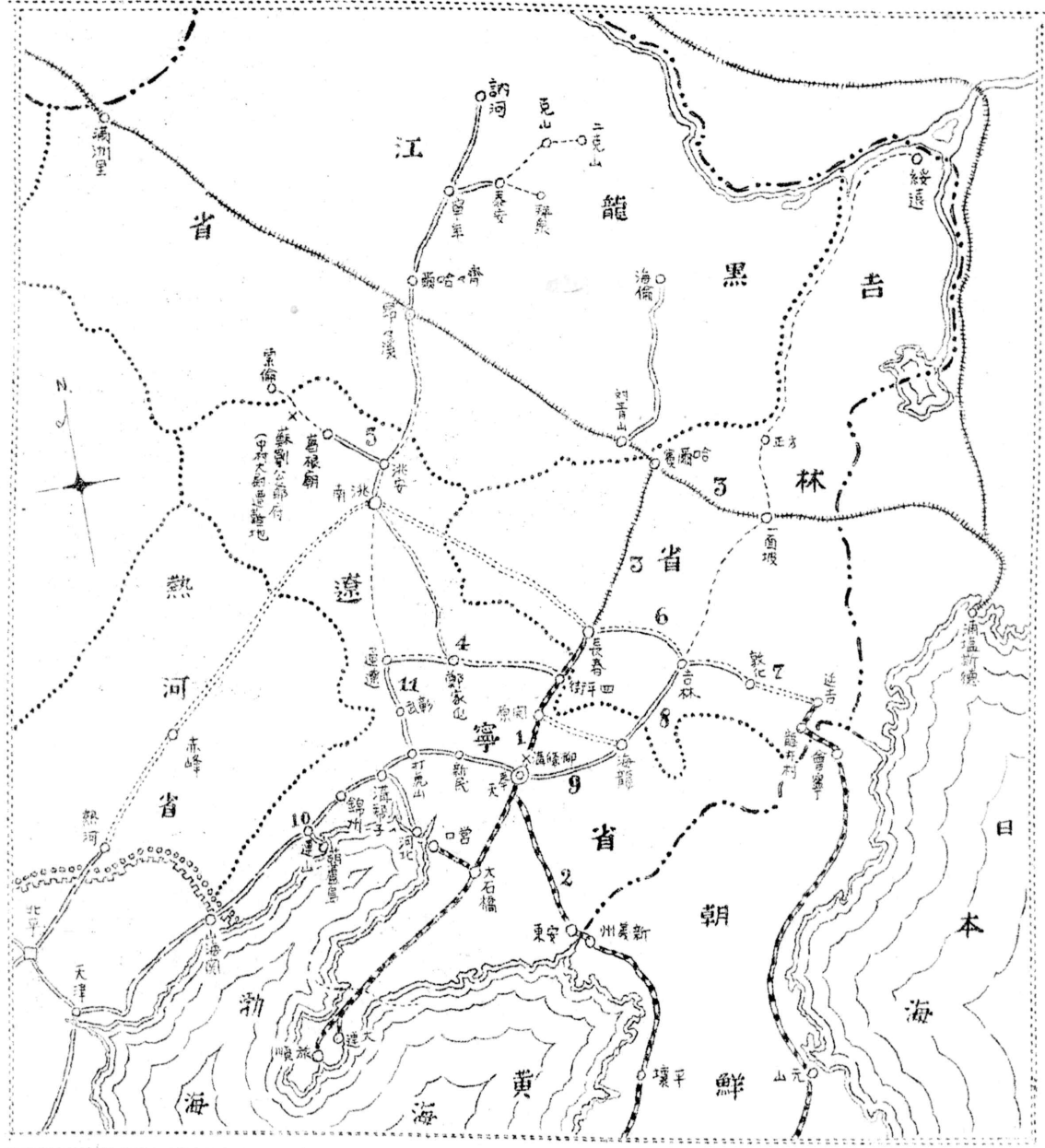
正月元旦

宮澤次郎

恭賀新年

正月元旦

吉崎芳太郎



1110987654321
 打北容吉吉吉洮四東安南
 通寧海海會長昂洮支奉滿
 線線線線線線線線線線
 () () () () () () () () () ()

滿蒙略圖

凡
 中國本土地境
 省界
 滿里長城
 日本鐵道
 借欵鐵道
 中國鐵道
 中國豫定線

謹賀新年
 一月元旦
 內田千尋
 賀正
 城戶市兵衛
 賀正
 田中長造

五、滿洲事變勃發と経過

民政内閣の萎縮政策と幣界の軟弱外交とに日本を見つめた支那は、近來益々露骨に非日運動と權益蹂躪を行ひ、通河流域に水田を経営せる鮮人を圧迫して、万宝山事件を惹起し、日本の國論は相當に沸騰し、未だ時、適々參謀本部附大尉中村震太郎氏支那官兵に虐殺せられたるより軍部の激怒する如き事となつた。

六、國際聯盟の干渉

事變勃發するや、誇大宣傳に妙を得たる支那は、恰度ジュネーブに開催中の國際聯盟理事會に通過し、支那代表施肇基は得たり、條約九國條約等、植に日本軍の軍事行動の抑圧を要求した。滿蒙の現状は勿論、支那の實情に迂り理事會議長グリフィン以下二十國の代表及び事務局長日本を被告扱ひ、北米の招致等をして日本を威嚇、圧迫せんとしたが、軍部の強硬なる態度は、外務省を硬化せしめ、我が芳沢代表は堂々日本の立場を説明し、理事會の不當なる態度を難詰したが、九月廿日、理事會は日本撤兵要求を決議して十一月十六日休會を宣言した。

七、滿蒙獨立宣言と新政府樹立

我々の軍の電光石火の如き行動は支那不當官憲を一掃し、秩序回復に努めて住民を安堵せしめたので張作霖、李景林等軍閥の軍費調達に苛斂誅求、採取掠奪を過ぎ三十餘年塗炭の苦に喘いでゐた滿蒙住民は、事變を好機會として軍閥の手を脱し、新政權の樹立のため獨立運動を起した。先づ遼寧省に於ては袁金鎧等主班となり、共和制の獨立國建設に着手し、十二月中旬、袁式毅吉林省に於ては熙洽を中心として同省の獨立宣言、黑龍江省に於ては張景惠、馬占山と協定なり、十二月黑龍江省の獨立を完成した。内外蒙古に於ても獨立運動着々進歩し、今や全滿蒙地方は日本軍保護の許に軍閥の手を放れて新政府を樹立するに至つた。

八、今後の滿蒙政策は如何にすべき乎

若槻内閣倒れ大義内閣成立してより外交方針が硬化し、支那側として一大脅威を感へてゐるが、今後の滿蒙政策こそ實に日本に對して重大なる結果を及ぼすものである。従来日本の滿蒙政策は四大勢力の葛藤(軍部、外務、滿鐵、閣内閣)は一定の目標を定むる能はず、滿鐵は常に政黨政派の一機関と化し、政變

毎に社長及幹部の更迭は滿鐵の方針を常に變動せしめ、國家百年の大計は樹立し得なかつたのである。この四大勢力の鼎立と滿鐵の政黨化は國論を一致する能はず、常に支那より輕侮せられた最大原因である。滿鐵は單なる一個の營利会社に非ず、日本國防の生命線たる重大なる責務ある会社とされ、今後政黨流着に自由任せられるが如き行動は飽逆排撃すべきである。次に日露戰役後、滿蒙人は支那人に一種の優越感を有し、征服者被征服者に対する態度を保持し、差別的感情を有し、共榮共存の念に缺けてゐる處である。以前聞いた話に、滿鐵列車内に於て支那人からは例へば一等切符を買つた者へ、これを三等車へ退けやつたといふ事もあり、事毎に支那人に對し悪感情を喚ぶるが如き行動をなしたのである。成程滿鐵は病院、学校等と相當文化施設をなしてゐるが、これも唯附屬地内ののみで、広く之を地域外に及ぼすと云ふ難量がない。従つて支那側にも附屬地以外に於てはこの惡感情の衝突より優待的であらざるを要するものも當然である。今や滿蒙住民新政權の樹立を希ふるの秋、我々日本人たる者は滿蒙取得權益を飽逆擁護すると共に國防の安全を計り、我が皇恩の深きを感ぜしむること、今後の滿蒙政策であらねばならぬ。

三一・二二

謹賀新年 正月元旦 瀧波文夫 謹賀新年 正月元旦 坪田静仁

救済方を請願したと云ふ

チヤコ入植者の現状

世界徒歩旅行者 岡田孝太郎

ミシオネスへ入植した邦人は帰山氏三名を除いては極く最近の事であつて、而も着々と好成績を挙げつゝあるにも拘らず、チヤコへの入植者は七八年古きは九年前からであるが、而も結果は良好ならずして負債は山を成し多くの犠牲者まで出した揚句、終に救済方を或る筋へ請願するの止むべきに至つたのは如何なる原因であるかを研究して見たいので、ボサダを發つて北部コリエンテス州を跋涉して、州首府コリエンテス市に出で来た。其地では水野時報社長へ逢へるのも一つの楽しみであつた。何事も歸郷の情で来て見ると社長は二日前にシオネスに向つて發たれた後であつた。半ば落膽したのが爲すべからずの多い私は日ならず同市からチヤコのエステランシア、ロマヤルタ(日拓所有の農場)を訪ひ、帰つて来るにエムペドラードの日拓農事試験所を見ても来た、それからバラナ河を横切つて、バラナケラスに渡り、其地から七村走つてレステンシア市の官符に着いた。

其地には四十餘人の沖澤泉人の名が商業に農業に活動して居られる。一々訪問して、今度は西方に百六十五軒あるサエンスベニアに出た。人口千二百位あるサエンスベニアには邦人経営のレスタウランド、ホムダ、

双方の歯が一度に痛出して寝ても起すに夜を明した。其上隣室では百日咳で悩む小児が泣き通すので、旁々苦しかった。

九時少し前に上岡氏のホンダ・エル・ハボンを訪ねると、ヴェレスサルズド(Veles Salzedo)の入植者で之の町から行く一番近い知に入植して居る札幌農科大学出身の伴亦男氏(伴亦男)と農事課から借受ける用向きで今朝二時に着させられ、之れからカハホに向つて行つて行つて居る知であつた。態々自動車と雇つても積りて行つて居るのであるが、斯く不便は又とあるべきでない。私は事情を話して同行する承諾を得た。一旦宿に帰つて荷物を主婦に預置き、忽ち必要と認むるもののみを携帯する事にした。

伴亦男の荷車はチヤコと云ふ田舎の頑夫も東である。道路が悪く、馬の驟馬と頭付けて来たと言はれる。出發は十時五十分であつた。町外れにある墓地へ伴亦男の後に從つて參詣する。其地にはチヤコ入植者最初の犠牲者六人の墓標が散らばりて居る。當時新聞地チヤコ一帯に亘つて、戦慄せしめた大患難事であつた。若くは斯等生に依つて有爲の青年四名まで同じ井戸の中に投せしめた人達の墓標である。

時は西ア千九百廿九年十一月廿日の事であつた。最初弟の健彦は兄俊士の命令で、毒を飲ませられて居るとは知らずして、井戸掃除の爲めに中に降りると、同もくく、苦しい一言を發したまゝ、窒息したのであ

る。兄は如何なる理由で弟が悲鳴をあけたのを知らずして、只助命せんと一念より、無意識の中に這入つて行つて、同じく救へなき最後を遂げたのである。

次ぎに瀧山庄兵衛と云ふ青年が同じモードで窒息して斃れ、最後に商大出身の山崎久雄君が後事は皆様にお頼ひ致しますと云つて、矢張り同じ井戸で生命を捨てたのである。

犠牲者の出身果と姓名

全	健彦	瀧山庄兵衛
福岡果	山崎久雄	千葉果
千葉果	山崎久雄	福岡果
福岡果	山崎久雄	千葉果

之等の墓標と二列に今一つの墓標は福岡果人山崎久雄氏である。彼が二百ペソの金を懐中して馬を賣りに出かけたのを、岡氏のベオン(パラグアイ人)が其金を眼で、杖山氏の後を追ひ、車法にも後から、ストルで購討したのである。死骸の発見されたのはそれから五日経つた後であつたので、顔面は見えず、身震ひする程に熱に焼かれ、冬の季の終り方であるにも拘らず、気温がかりしたため肉は己に腐爛して、臭いものもあつた。不祥事のありし日は千九百廿九年八月十二日。本岡地に空運する勇者の間には往々有り勝ちの事である。

最も記憶かい死にやうをしたのは曾根慶之助である。伯刺西ルヴラ二ヶ月前に此地に轉住して来て、同じ入植者の中から狂人現はれ、其狂人のウランチェスタを狂生を殺したのである。二十式に於けるや、そのに人生の首を懸修にもチヤコの庭野に散らしたのである。千九百廿八年七月十九日の出来事であつた。

同情者の義捐金に據つて立派な墓標が出来、其下に精霊は永久に安らぐに眠つてゐるのである。

ランコスタ防禦用のパレラ四百二十枚を政府は農民保護の目的で、二ペソの請願用印紙代を仕佛へば、誰にでも貸附けてくれるのである。二ペソ一枚紛失したる場合は一ペソ宛損害賠償せねばならぬ事になつてゐる。

墓地を去ると同時に雨が降り初めた。それが又十時同と云ふ永く同續いたのである。雨は全く暗い。昨夜の雨が蓋のない荷車の上で、頭からグツグツ濡れにやつてゐる。弱味に附んで又痛み出して来た。前向いて見掛けた居る伴亦男と話したい。誠意になつて兎も走馬水所が、度々の降雨で、広大な水所が、度々ある。到底徒歩では来られなかつた。

沿道にケブラチヨの多い事が、回を惹く。政府は無断伐採を厳禁して居るやうな。

玉崎泰は己に八にも伸びて居るのもある。早過ぎる程は二時位地上に現れて居た。

伴亦男の植民地で一番嫌はれたる入植者はチヤコ・スロウアキア人です。彼等は嫌はれる事少しも苦にしません。却つて他の入植者達と隔離して行くやうな傾向が見えます。道路としてまきまきである。其地でも彼等の耕作に便利である。其地をお構ひなしに、鋤耕しては舞ひます。道路が何時も裏裏と居ります。

以下日記に據る。

夜通し雨に悩まされる。

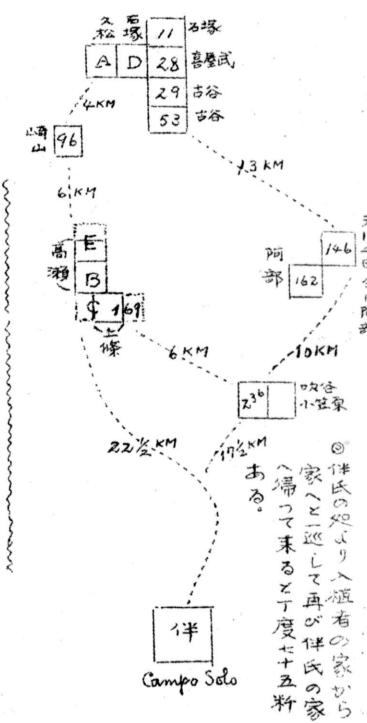
今から十ヶ月前、北米シヤコでプリンスの入植者としての、永い年月に被せられた破損したる、それ程、雨と云ふ時、痛みと起して、昨夜十時頃から俄にブリッジを留め、

實際は自己主義で我利我利で... 伴君が渡されたのは六年前の事である...

八千五百ペンを譲り渡されたもの... 伴君の内に山口県出身で海軍出...

- 手を切り、今は自由行動を... 折角の鶏の御馳走も苗圃の爲の... 秋田県 (高瀬氏の権とし)...

十月二十日、伴君の処から二十料半北に向いて... 伴君の処から二十料半北に向いて...



に於ける事には、不意に多勢の押掛け入来は上條氏も傾いた... 上條氏の暮れに渡された...



(以下次号)

ミシオネス官有地への入植方法とその資金に就て

在ミシオネス

比嘉栄一

「粗食に堪え、厚日なき山中の寂寞を忍び得るから誰でも出たてなさい」と、ミシオネスの先駆者達は常に言つてゐる。之は開拓者としての最も重要な素質を道破して遺囑なき言葉である。即ち之を言換へて見ると、身体強健で意志強固でなければならぬと云ふ事である。

身心の強盛であるべきは何処でも何等に從事するにも必要の條件であつて、強ち之を開拓者にはより要求する理由は、さういふにあるが、然し之れには更に深長なる意味が蘊されてゐるのである。ミシオネスの官有地を町で食詰めた人間の退場所と考へられたら困ると云ふ事である。

「稼ぐに飽かぬ食ふに飽かぬ」と云つて昔の食生活は昔の女の足見たように弱ましいものであつたらしいが、現代では堂々たる野郎に後座を譲つて居る女選手のある如く、食生活もかたが健康にまつた。之は資本主義と云ふ大パトロンがあつた益に、スポーツを奨励する結果だと云ふ人があつて、理論的研究は専門家に譲つて、現代社会の実際を眞実と考へ、遂に飽かぬ食ふに飽かぬ稼ぐに飽かぬの条件が、素直に何等の欠陥もなく、稼ぐに飽かぬ食ふに飽かぬの、最も理想的な食生活である。斯く云ふ種類の食生活は旧時代にはなつたもので、現代文明の世の中に始めて生れたものである。新井裕に見せたら、そんな長つたらしい名前を、面倒臭いと云つてモロリンとレラインするにまぎつて、から更の切つてモロリンと云ふ。

ミシオネス官有地は古い食生活に對して、入園禁止であるが、モロリンに對しては、門戸が開放されてゐる。そして多数の先住邦人は此の同情すべきモロリンに對して一顧の煩も惜まふまいだらう。

ミシオネスの官有地は、斯く云ふ人々に對つて、實に神向の就業地ではないが、思ふ、僅の資本で十年眞面目に働いて辛抱さへすれば、少くとも廿五

町歩の肥沃な土地の地主になれること保障されてゐる。そののであるから充分酬はられる筈である。本稿は之の序の人々に準備知識を喚ぶのが目的である。

官有地と云つても文字の示す通り山林であつて、養育院ではないのだから、文字通りの赤手空拳では入植出来ぬ。官有地までの旅費は、建てる土地を撰択し、住宅を建て、之を収穫するまでの生活費は、必須の入植資金と知らねばならぬ。

然らば、その最少限の入植資金が何程要るか、資金と云へば大抵袋に聞けるけれども、決して驚くには及ばぬ。

オニグニス、アイレスからの旅費だ。ズニ車列で一人前四十九元。ボサダス滞在費十元。ボサダス五元。汽車と聯絡のカミオンが未だ出来て居らぬから、三日ボサダスに滞在せねばならぬ現狀である。ボサダスからジェルバルまでの車賃一人前五元。オベラーの町から成る邦人の家まで三三里はあるから、若し夜間に所に着いた時は町のホテルに一泊の必要があるから此費用五元位見て置くのが宜当だ。

以上は汽車に依る場合の旅費だが、船便に依るのも大同小異である。尤も大家族の引越しの場合は、荷物の量が多いため、船便に依るのが、運賃の様に、なせぬからである。但し船便に依る場合は、エレエント港で乗換へるある節を忘れぬ。

オニグニス旅費の補成が済んだから、此度は建築費だ。建築に取掛る前に少くも手續を要する。さて愈々世話を頼まねば、邦人の家に着くと、初対面又は久闊の挨拶宜しうあり、日本から来た人から両手ガ膝頭を下る程度に、頭を前に突出すること請合、オニグニスを迎へる。オニグニスの官有地は未だ官の測量が済んで居ない。現今盛んに續行中であるが、測量の済んでゐる所は、大概占領されてゐる。土地を撰定するに別段役所に同合す必要はない。地理を知つて、先輩と共に鉄の草履を穿いて探検するのである。鉄の草履は、古い根氣張く調査すべしと云ふ。百年の基礎を築くべき土地だから、ウツカリして悪い土地を掴んだら、未だまでの損失ではない。

愈々理想の土地を見つつかつたら、自分で假の測量をせよと、占領する土地の周囲に、ローケを聞ける。ローケとは山の中に初めてつける小路のこゝで、ローケの内側は後から何人も侵入せぬ事にかつてゐる。以上二つの手續に就いては、世話を頼む人が親戚であつたり、友人であつたりする場合は、格別費用はかゝらぬ。然し相當の経費は予定して置くのが、前にも思ふ。土地探検の費用は、私は前例を知らぬ。が、予算やら思つて置く外ない。ローケをつける費用は一戸分の土地二十五エングラ（官有地階下）の規則で廿五町を一チマトラとして分配の單位になつてゐる。

賀正

正月元旦

翻譯事務所 岡部壯一

Callie Crile 940
Seipian, Dan-dan
P. O. Box 2349

謹賀新年

正月元旦

黒川 廣

即ち五百メートルの正方形にふる
から周囲が二千メートルとふる
此の延長二千メートルに幅約一
メートルのビークを付けるのにブラジル
人(此地方のヘオンは大方ブラジル
人に請負はすと、二十ペソ内外と云ふこ
とである。
ビークが出来ると愈々本
物の入植とふる訳だから、先づオー
に住宅の建築である。建築に取
掛る前に官有地管理局の出張
所(オペラーに在り)へ出頭して用材採
採の許可を受けねばならぬ。その
許可書を得るために手数料を拂
ふが一定してゐるふい様で、七八ペソ
で済んだ人もあるが最近に入植
した中川君は十三ペソ拂つた。
住宅は家族の多少に依つてそれ
の広さを要し、又極端に質素ホッ
マリ原始的のものと同に合はす
して、松丸木に草屋根の堀立小屋
を造れば格別金と云ふ程のものも
掛るまいけれど、斯う云ふ式の小屋
は、ジェルバ、ワイエホの山中でも一
昔前の半分時代にはあつたやう
知れぬが、現今では用ひられぬ。
此地方の植民は、オペラー、ルウエ
、独りロシア等北政州の人々多く
その中で最も高級視されるのは
シアン人である。住宅はチヤンと角材
板又はトタン張りの小綺麗な家を
建て、あるのだから一等国民の各々
として、今更インデイスの真似も出来
まいと思ふ。だが住宅だけは、大
工の手を煩すとしたら、予備が必
にふつて来る。独身の人も三米
に四メートルの一部屋を同じ合ふ筈だ
から、いくら掛るまいけれど、元
来植民は家族連が原則である
から、兎も角夫婦と子供二人の四

人家族として四メートルに六メートル
の廣さは必要である。経験家の
話に依れば、百五十ペソ掛りたら
程度の家が建つと云ふから、安い
ものだ。
日東健児の我が同胞に早くヨ
ロシヤ人並みの家を建てたいと
せるために、一ツ重大なる作業を
取り落してつた。考へても見給へ
喬木雑木の重なり合つて居る中
に家を建てる訳に行かぬ。だから
建築の準備に取掛ると同時に、屋
敷地へ旁々、食料作物の栽培に
要する土地を二三町開拓せねば
ならぬ。伐採作業に経験のある
人なら此場合大いに助かるけれど
も、素人には二抱へも三抱へも
大木を倒しては、藪がた、ふい、だ
大木を伐り倒して焼拂つて、その跡
片付をするまでの作業を、例の
ラシエロに請負はすのを先づ普
通とする。之に要する費用が現
今の相場で一町歩七十五ペソ
である。
叔宅住宅が出来上つて引越した
之れから何を先づいの一
に身分相應の落成祝、シン脱線
するふい。
先づ何をさて措いても、其季節に
合する作物の種子を下す。とん、
素人でも、百種を志して、入植し
た以上、作物の播種、植付、収穫
の作業は自分で行はねばならぬ
から、之等に関する経費は計上せ
ふいことにする。
茲で注意申上りたい事は、入植の
時期に於いてある。時季がよ
かつた爲に、数ヶ月前に入植した
と同時に、食料の収穫があつた。此
で一方では、豫養に赤字問題が起

るのに、他方では、割金食がま
大いに助かることがある。すると、何
月頃か、いだらうが、之も、定
家の話に依ると五月から九月ま
の間に最も適当だと云ふこと
である。
そこで、その最も、時期に入植
して、自作の食物を収穫するまで
食費として何程予算するかの
費沢を云へば、限が、ない、ウラ
張り、最低級の生活を、目安として
前記、四人家族が、くとも、百五十
ペソは、要するらしい。最後の生
活に、要するらしい。最後の生
汁、煮付の、皿も、添へると、云つた、
ま、日本式では、な、その位、上
へ、だ、から、郷に入つては、郷に
その地方で、豊産する、安、肥料を
利用せねばならぬ。
それから、入植、早、乗、馬、一頭
は、是非、要する。酒屋へ、一、豆腐
へ、三、里と、山、村、の、不、便、は、日、米、共、通、で
は、ある、が、ジェ、ル、バ、ル、ウ、イ、エ、ホ、で、
更、に、之、を、掛、けた、もの、と、覚、悟、せ、ね
ば、ならぬ。現に、日本人の、居る、所、が
ら、酒屋、のある、オペ、ラー、まで、一、番、近
い、人、で、一、里、半、遠、い、人、は、三、里、も、あ
る、が、豆腐、屋、へ、は、三、百、里、も、あ、る、か、ら、
然、ら、ず、あ、ら、う、め、る、と、し、て、も、日、本、人、相、互
間、でも、一、里、三、里、と、離、れ、て、居、る、し、最
近、入、植、した、中、川、君、は、五、六、里、上、も
ある。後、から、来る、人、は、次、才、に、遠
く、遠、く、進、出、せ、ね、ば、ならぬ、ま、い。
入、植、した、ら、最、後、一、生、の、同、胞、城
する、積、でも、それは、ネ、セ、ン、ダ、イ、が、許
さ、ない、才、に、種、物、や、苗、木、の、こ、何
かに、就、いて、の、相、談、で、日、本、人、は
やはり、日本人に、頼、つ、た、方、が、便利、だ
から、遠、く、つ、つ、も、同、胞、間、の、往、来、は、止

を得る約束がある。同胞間の
先天的約束は、此、才、一、才、の、外
にも、満、洲、の、野、で、日、本、軍、が、運、載、
例、へ、は、満、洲、の、野、で、日、本、軍、が、運、載、
勝、つ、た、と、上、野、の、森、より、も、低、い、
隊、だ、も、の、と、上、野、の、森、より、も、低、い、
を、富、士、山、程、高、く、して、喘、息、を、口、
さ、み、ち、が、ら、草、取、り、に、一、生、運、命、
ある、が、若、し、戦、線、の、一、局、部、で、一、
でも、退、却、した、と、云、ふ、報、でも、傳、は
ら、う、もの、ふ、ら、う、の、任、事、が、手、に、付、
ふ、い、一、大、セン、セ、ン、シ、ョ、ン、を、起、して、誰
彼、の、所、に、取、つ、け、る、事、に、あ、る。
之、は、日、本、人、た、る、もの、と、認、め、あ、つ、て、
利害、運、命、の、批、判、を、起、した、る、
精神、状態、である。く、ど、い、様、だ、
参考、の、ため、に、今、一、つ、
で、草、木、が、よく、繁、茂、する、様、に、
が、日、本、生、物、の、殖、え、の、神、意、に、適、
た、日、本、生、物、だ、もの、赤、ん、坊、が、毎、年
生、れる、斯、う、な、つ、たら、都、會、の、モ
ビ、ン、は、定、め、て、肝、を、潰、す、だ、ら、う、
之、が、吾、々、ミ、シ、オ、ネ、ロ、ガ、文、明、の、利
器、を、捨、て、豊、次、無、際、涯、の、山、中、に
御、腰、を、据、え、て、居、る、一、徳、である。
飽、ま、でも、膨、張、的、で、あ、つ、た、我、日
本、帝、國、が、産、製、限、か、ら、收、縮、作
用、を、起、して、居、る、際、その、理、合、せ、の
爲、に、廣、大、なる、南、米、で、大、いに、繁、殖、を
營、む、の、も、亦、我、國、の、一、端、である。
そんな、様、子、を、わ、け、て、ミ、シ、オ、ネ、ス、で
は、赤、ん、坊、が、生、れる、と、同、室、が、一、つ
殖、え、た、位、に、同、胞、間、の、事、である、
ら、同胞、た、る、もの、之、を、聞、いて、じ、つ
として、居、る、訳、は、ない、である。
今、一、つ、馬、の、必要、不、理由、は、郵便
物、の、こ、と、である。郵便、局、は、オ、ペ
ラー、に、ある、が、受、持、区域、が、馬、鹿、に
広い、爲、に、一、切、配、達、は、し、ない。

謹賀新年
一月一日
山田忠重
日本式按摩並に
鍼灸治療

謹賀新年
一月一日
稻尾孝樹
出口貞三郎

電報さへ配達はしなさい。だから
当方から出さずに行かぬは郵
便を受取ることも發送すること
も出来ないのである。
右の様が才であるから白馬
銀鞍はミシネスの山中では賛
沢なものではなく、足のように必
要なものであることが首肯され
たであらう。

斯う長つたらしい説明付きの
予算ふら度とてつもふい高價
ぶものだらうと先づ最初に度肝
を抜いて置いて後で安心させる
のが吾輩の手法だ。乗馬一頭
鞍付で百ペンは如何です。
もう手落はさし知らへ、アッお
つた。農具炊事道具に食器そ
れから寝具だが、寝具はカーマ
あれは勿論之に然した事はな
が日本から持つて来られた苦
蒲團や毛布があれは最初それ
で充分間に合ふが寝具は予算
から省くことにする。農具や食
器はぬきまわし。

実験家に依ると農具代三十ペ
炊事道具と食器を引くため
四十。ソもあつたらうからとある
以上掲げた経費を一表に作つて
見ると、左の通り

- 一 一五〇.〇〇 オペレーター滞在費
- 一 二〇〇.〇〇 土地一戸分、ピーケ
- 一 一五〇.〇〇 開通費
- 一 一五〇.〇〇 伐採許可税金
- 一 一五〇.〇〇 三町歩開拓費
- 一 一五〇.〇〇 住宅建築費
- 一 一〇〇.〇〇 馬一頭、鞍具
- 一 一〇〇.〇〇 食料費
- 一 二〇〇.〇〇 農具代
- 一 四〇〇.〇〇 炊事具及食器
- 計 七二〇〇.〇〇
- 合計 九三〇〇.〇〇

此表には荷物の過剰運賃運
車又は船舶の(と)ボサダより
含まれてゐない。行李三三個か
ら何れの線路でも荷物の運賃
は要るまい。大荷物からそれ
相当の入費が、大減である。
此場合ボサダよりスベラーまで
百キロにつき四ペンの割合で請求
される。

尚ほ人間には不慮の災難、例へ
ば病氣にふるとか、思はぬケツを
しふても限らない。ケツ買戻性
の豊でふい人、又はアルテラ
人には多少の予備金を携帶すれ
ば一層堅実である。

以上は一定の土地を占有して食
糧を採るまでの手續であ
るが、それと土地の所有権が
與へられるか否か、そのうち
い。官有地を下げの規則に依
る。その第一帯を、ソ、ソ、ソ
バル(即ちマテ茶栽培地帯)と
土地の分譲を受ける者は現
則に定めてある面積に必ず
て、その面積を超過せぬば

になつて居り、規則通り開拓し
て始めて政府の検査に合格しそ
の命する代金を収めて愈々地
券の下附を受ける段取りである。
然らばそのシエルベふるもの
の栽培法は如何、経費は幾ら要
つてそれを何処から如何して作
り出すか、土地代金は何処から
持つて来るか等々金の、金の事
話の、金の事は是から大
して入植した人は、ほんの二三の少
数であつて他の多くの人々は腕
本で着々進歩してゐる。だが
ら之等の奥に就いては入植の後
に例の白馬銀鞍を利用して然
るべき先輩を先端から訪問し
て指導を受けたり自ら会得す
る所があると思ふから、本稿で
は省略する。(一九三二年稿)

賀正
有水藤太郎
全藤雄

賀正
宮崎八郎

賀正
横山重馬

賀正
金子守助

賀正
菊地銀三

謹賀新年
明興園
賀集兄弟
営業部 市内カビルド街 三七〇
園藝部 エスコバル町 F.C.C.A.

矢崎画伯の藝術

粹庵

私は本人を目前に置いて批評を下すのは嫌である。なぜか。去へば、もし良く去へばお世評を去つてゐるとか、或は同人のために買はれて宣傳を行つて居ると思はれ、又もし悪く評すれば個人の不遺恨はらして居るやうにシマシマ、やうやう居るやうに考へられる怖があるからである。

矢崎画伯と最近近く機会が多かつた私が同氏の藝術に就いて今日迄多く語らなかつたのは、記のやうな理由からである。然し画伯は十二月の七日に伯國に向ひ私はもはや誰には言はる所もないので同氏の藝術に就いてマツマ批評を下すと同時に感想を述べて見たい。

矢崎千代二画伯は今年やつて帝展の推薦にふつたのであるが、故黒田画伯の高弟であつて、日本洋画界の重鎮たる藤島武二中村不折・満谷四郎・三宅古己等と当然肩を列ぶ可き人である。

矢崎氏が今日まで帝展の推薦と云ふ画家としての最上の待遇を受けなかつたのは、同氏の氣質が頗る偏盛であり、社交に長じて居ないことである。眞の藝術家に取つてはそんな事はどうでもよまはないやうなものであるが、——に依る所が多い。また矢崎氏は自己の独特な見地から油絵を止してパステルに

走つたと云ふことも、日本の大家達の目から見れば一種の落後もししくは墮落であつたかも知れない。絵に對する理解力と云ふ技能と云ふ正に熟達老練の域に達して居る矢崎氏がやつと今年推薦に推されたことと云ふ事は、日本洋画界の情実を物語るものであり、同時に矢崎氏の黙殺すべきならざる藝術の價値を認めしむるものである。

常に帝展の官僚的的態度に飽き足らなかつた矢崎氏は、ブエノスアイレスに於て「推薦」の報に接し、今になつてやつと其の榮に浴したと云ふことになり、悪かつたのや、或いは是れ迄冷遇した人々に對する憎悪心が起つた末、たのやと云ふ非難が起つたのである。矢崎氏はこれに對して、ミレーと云ふモイッスラーと云ふ、其の他無数の大家にして六十の歳を経たやうな、始めは矢崎氏の冷遇は、何ぞや驚く事もあるまい。また、今回「推薦」にふつたからと云つて一躍大家にふつたのでなく、氏の藝術の價値は既に充分に認められてゐるのである。また帝展の大家連の中には、随分如何がはしい大家もあつて、帝展そのものの價値すら一部分の人々から疑はれて居る

では、いさ、そして眞に發刺たる純眞の藝術を非むるものは、二科や、野、画界に走りつてゐるではないか。

藤田嗣治画伯は今日では押しも押されぬ世界の大家である。氏が四十歳前に大家として認められた事は、その非凡ぶる獨創藝術によるのであるが、また一面には彼の奇抜なる容貌及び社交様式に負ふ所が決して少くないのである。藤田氏は画家としては所謂天才肌であり、社交的には痛快な巴里児である。矢崎画伯が巴里の春のサロンに入選したのは確り一九二〇年であり、邦人画家としては最初の人であつた。其の頃藤田画伯もやつと秋のサロンに於てその独特な技能を認められ居たことを、私は當時巴里に於てよく記憶してゐる。唯だ矢崎氏の藝術は眞面目であり、地味であり、その氣質には藤田氏の藝術は奇抜である。矢崎画伯の藝術は社交的であり、勇敏である。其地に確然として西者の進む可き道が分れて居たのである。

藝術家が若年にして其の技能を認められるには、非凡なる才能の必要なるは云ふ迄もない事である。その社会生活に於て、アラフレイブ、何物かを持つて云ふ事、それより以上の必要である。大家なるものは自らなるものでなく、寧ろ半可通な氣取屋たる社交界の所謂「スライプ」に依つて打たれる場合が多い。そして眞の大家なるものは、僅かに藝術

隨の間に於てのみ、切に保つてられ、俗人社会の同には往々にして、しらしら場合が多いものである。

巴里を藤田と比んで社交界の流行兒となつて居る肖像画家のアンドレ・ボナールは、その色彩調和に於て非凡な才能の持主である。云ふことが、彼の今日の名声を作つたのであるが、一面には彼が派手な上流社会の「スライプ」を喜ばせた事も彼の非常なる出世に貢献したのである。

矢崎氏の画風は前述の如く眞面目であり、地味であり、素直である。是れは画伯の謙遜的の氣質の及照であると共に、その古画に對する深い私淑の影響である。實際氏は半世を世界の放浪生活に送り、支那に前後々八年、印度に五年、歐洲に五六年、北米に同じく五六年も居る。自らに於ては、自らに於て古画の研究を怠らなかつた。殊に印度に於ては、單身ヒマラヤの高原深く入り、佛跡に於て古画の模寫を行つたのである。日本人にして最初に佛跡カピラ城を訪れたのは、實に矢崎画伯であること云はれてゐる。

氏は其の旅に於て草木の實を喰ひつゝ、あらゆる困難と戦ひ、佛跡に到り寫生を行つたのであるが、其の時の印度古画の模寫は、日本佛敎研究家の間に於ては、非常なる好参考品であること云はれて居る。斯かる寫生には、手間の取れる油絵は不適当であり、鉛筆やペンの寫生では色を寫す事が出来ない。

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 賀正
小園重正 | 賀正
指宿一男 | 賀正
鈴木驥一郎 |
| 賀正
小川勇 | | |

形と色の速寫に最も適するパステルを矢崎氏が特に選ぶに到つたのは実に斯かる動機に依るものであらう。

刻々に変り行く雄大な自然を直視し、また其の瞬間の印象を寫生せんが爲めに矢崎氏はパステルを採用するに到つたのであらう。

斯く世界を眼に付けて歩き下ら描く氏の繪は南画の如き豪放な意味があり、セザンヌに見るが如き美しい色彩の調和を見るのである。殊に薄暮の風景画は矢崎氏の最も得意とする所であり、秋風景、市街を化した幻影の境となす技能は實に獨特のものである。これらパステルに依る速寫に依ることもたならは、わざとらしい味あふ絵となり終ることであらう。

其の他矢崎氏は肖像画にも中々確りである。殊に短時間を描き上げたものは得意な南画の筆法が表れてゐる。面白いのは、余り念を入れて描いたものは、稍々もすれば寫眞的になり過ぎると、同時に濃刺たる生氣を失ふの傾向があるやうに思はれる。氏は必ずしも老練な画家であつて、何れでも巧に描くのであるが、肖像画は、親しみと温かみとを以て、一種の人間味を缺いて居る。是れは矢崎氏の性格として、余り人間に親しむことが出来なためであらう。殊に婦人像は、氏は女の肖像には、概して深くなる傾向がある。それ故に、めづらしい愛嬌と女性味とが、よく映けるのである。

画伯は巴里に滞在中裸体画も多少描いたことがある。其の中でも或劇場の楽屋で寫生した踊子の画は、非常な傑作だつたと云はれてゐる。併し、下ら裸体の人物を描くには人間に対する親しみがなく、はなからい、全時に藝術的のポーズとコムポジションが出来なければならぬ。然るに、斯くした条件を矢崎氏に求めるは少し無理である。従つて肖像画家としての技量は有り得るとするも、天性上、氏はやはり風景画家である。併して、風景画家としては、崇高なる氣品と卓然たる技量を十分に具備する作家である。

巴里の「美術雑誌」(Revue des Arts et des Lettres)の批評家「ベリ」(Berlioz)は、於ては世界大衆と肩を列べると云つたのは決して根拠なき讚辭ではなからう。

唯だ、氏の画はパステルであるが、それなら、大衆のもの出来ぬ。それ故に、素人には如何にも見えない。其の價値は作品の形の大小に依つて定むられるものではない。有名なミレーの「晩鐘」の原画の如きも、僅か六センチメートルの四センチメートル位のものである。私に記憶してゐる。矢崎氏の繪も、少くもこのはかりである。調和的、色彩を以て描かれたあの風景画は、見れば見る程面白味巧味が出てくるのである。斯くした地味な味、一般の觀衆人に判つたであらうか。

ラ・サンスン紙の美術批評家、

ガリ氏とラ・サンスン紙のブレイエス氏は、眞價を認め得た様であつた。ラ・サンスン紙の記者は、矢崎氏が佛蘭西に五年居たと云ふのに、佛語の会話が全然出来ないと云ふ事だけで、例のい、物と思ひ込んで了つたもの、が、黙殺したの、は、南米の新聞の記者として、五、六年は、佛蘭西と米國に居たのに、佛語も英語もろくく、覚えやうとしなかつたのが、矢崎氏の眞實にして、素直なる藝術があらのである。

然し、乍ら「ベリ」に屬する作家連には、接近する機会があつた。當國一流の画家キンケラー、マルチン氏、アリチエ氏は、矢崎氏の画に、讃辭を著まされた。は、ガリ氏を、M. G. de la Roche、として、取扱つた。此の點に就いて、私は、國画家の立派な態度に、尊敬を拂はざるを得ない。また、矢崎氏は、フランス・パリスに於て、眞實な藝術家を、眞價を認め、眞實に、其の價値を、満足すべきである。

氏の展覧会としては、「ベリ」に於ても、「シネ・ホテル」に於ても、決して、物量的に成功を収めなかつた。それは、繪が一般の人々に好まれなかつたのである。財界の不況が、たつたのである。選舉も前に、金へ、前途暗澹たる時、繪を前に、金を使ふ者の少なかつたこと、は、寧ろ當然の事であらう。

それら、或る者は、矢崎氏が、日

本の繪を持つて来た、かつた事、を、非常に惜んでゐた。又、或者は、何故日本の景色を描かないのだと、愚問を發した。また、ラ・サンスン紙の記者は、日本人で、洋画を描くと云ふこと、を、不思議ならぬと、私に云つた。そこで、日本には、既に、世に、前より、沢山の、洋画家がある、と、私に云つても、そんな事は、信じられぬ、と、云ふ。一体、この美術記者は、日本では、今でも、洋世繪は、かり、描いて居ると、思つてゐるのか？

日本人が、絵を、巧に、油絵具、パステル、を使って、描いても、やはり、日本人の、繪である。其の、知には、了然として、日本人特有の、画風が、見られるのである。繪と云ふものは、決して、機械的、寫眞の、様のもので、ない。それは、個人的、なものである。如何に、他人に、模して、自己の、性格の、表れる、事を、防ごうと、出来ぬのである。油絵具と云ふパステルと云ふ、日本絵具と云ふ、要するに、それは、画家が、自己を、表現する、ための、方便に、すぎない。だ、不幸にして、そんな事を、フランス・パリスの「ラス・タ」民衆に、判らなかつた。

それから、画家が、絵に、依つて、自らの、感興を、表す、のに、一定の、環境を、置はなければ、ならぬ、と、云ふ事は、間違ひである。如何なる、所に、於ても、感興を、感ずる時、それが、繪となり、藝術品となり、なつて、その、始め、は、立派な、画家たり得るものである。

結局、矢崎氏は、フランス・パリスで、學んで、歸る、人達に、識られた、のみで、畫界には、無名の、画家に、過ぎなかつた。また、在留、同族の、大部分は、此の、優れた、藝術の、大傑に、到つて、無関心であつた。

最近に、来るべき「有名」な、藝術畫

伯に對しては既に今から大騒ぎして居る。併し、その絵に對する眞價を識る人間が此のフエノスにどれ程あるであらうか。(完)

賀正 中村陽三

賀正 田中乙吉

賀正 塩澤長助

世相の様々

仙骨

名利の塵外にありて神を恬淡に飛はしめ、世に閑せざる事少きに非ず、真如の月を詠むるに憂化ありし爲なり。

或日念然珍余に語りて曰く、昨今末重の同族は執れも洋服の着こふし頼る巧みにして垢抜致し居るなり、然れば今日彼等に纏纏を纏はしむるも、和製の食食には見えざるべしと。愚仙も亦同感大いに喜ぶ居る次第、唯だ可笑しきは和製の食食が熱語なり、吾んぞ知らん、こは弊衣破爛赤毛布式なる當年の念然坊、彼れ自身を遠慮なく形容せし語なりと。 (知らぬガッパ)

知らぬガッパ

馬鹿も伶俐に見へるなり、着こふし方の上手なる阿房ガッパ同並の服装を致し、無言なる間は如何にも伶俐に見ゆるなり。然れども一度口を開くや、忍ち其本性を現はし、他人様より沐猴にして居る事、業人形も装束柄とゾの嗤笑を受くるなり。

無慮の外交官たれ

各國政府に対しての外交は遺外大使や公使等の辨れによりて巧みに行われ居るも、彼等國民に対しての直接外交は、実在在外同胞の双肩にありと云はざるべからず。然れば如何なる時、如何なる國にあるも、苟も教養あるの士は常に我は無慮の外交官たり、國士たりとの覚悟を以て彼等國民と接し好感を彼等に與ふる様致さざるべからず。

他國の尊敬は衣服にあり

「休も破れ衣で出る時は乞食坊子と人は云ふなり」との諺、新左エ門の道歌の如く、知人の尊敬は名にあり、他人の尊敬は衣服にあり、況んや

海外に於ておや、然ればとて愚仙は何れも高價なる洋服を着し、舞臺の馬鹿殿様を演取れど、之にはあらず、要は他人に悪感を喚ぶ火の服装が必要なりと申すなり。

方言は今も昔と異ならず、一国内にありて、交通の便此上も無く、發達し、未だ致す人々の多き今日、地方々の方言は自然に消滅し、言語の統一は、いそ容易なるべく存せらるるも、事實は之に反し、歐洲の先進國、英、佛等の地方々々に於け

言語の統一は新國にあり

漢州や北米や南米諸國の如き新國に於て、旧来の土人の言語は例として地方々の方言は至つて少く、一般に一国内に於ける言語の統一は出来居る様子なり、こは孰れも標準語を使用し居る愚愚と知るべし。

世界共通の標準語を決定せよ

愚仙は一国内に標準語の存在致す如く、世界共通の標準語として「エスペラント」の採用を聯盟會議で決定せられん事を希冀致すものなり、こは百利あつて一害なく、各國各島の義務教育年限中の一科目として教授致すは、尤程の困難も感せず、少年少女は容易に學ぶ得る新術と存せらるるなり。

又新聞雜誌等を發刊致し、以此語の培養を計り、世界的知識を注入致すは、蓋し得る如大なりと信ず、後年彼等が如何なる國に至るも、特に其の國々の言語を研究致す必要を認めず、自由に交際し得るなり。

世界的風俗習慣を作れ

郷に入つては郷に従へ、世界と同化せよとは、本と條、各國の風俗習慣には千差万別、眞似てよき事と悪しき事とあり、充分に檢擇擇擇に注意し、我が短を捨て、彼ら長を採り、完全なる世界的よき風俗習慣を作り度き事なり。

各國民の親切振り

舊國民の親切は田舎人の親切の如く、何等の飾りも嫌みも無之、逸民の親切は酒呑童子の親切の如く、何んとかく薄味味悪く、秋并同胞には、子と五月蟻過ぎ申すなり、佛國民の親切は遺り手婆りの親切の如く、人をそらさぬ、又其の如水の如く、一見甚だ薄情に似て、其実非常に親切なり、米國民の親切は天真瀟灑、其日々々の出来心に、非常な親切なる事もあり、親切は不親切なる事もあり、西伊兩國民の親切振りに就いては、在重同胞は能く御承知の事ならん、愚仙は是に賛せず。

(未完)

賀正

岡田芳太郎

賀正

久慈忠

そして、西班牙人が佛蘭西へ移
植し、又南米へ持ち込んだのがそ
れである。タンゴは、その最初の
だといわれる。

◎「タンゴ」の誕生

タンゴは、タンゴなる語の出所は、
で、タンゴの語源は、美都三は前章に於
てタンゴの語源、原産地がアルゼ
ンチンである事は、最早や動ずす
事の出来ぬ事実だと述べた。

舞臺は忽ち下町に繁栄し、コ
ンパドリートのタンゴ達を懸念
し、下町の隅から隅まで燎原の火
の如く広がっていった。

◎「タンゴ」の伝説

タンゴは、タンゴなる語の出所は、
で、タンゴの語源は、美都三は前章に於
てタンゴの語源、原産地がアルゼ
ンチンである事は、最早や動ずす
事の出来ぬ事実だと述べた。

ラバーエ街とタルカウアン街の角に
あるブラサ・ラバーエで開催された
舞踊会へ彼を案内した。

◎「タンゴ」の伝説

ラバーエ街とタルカウアン街の角に
あるブラサ・ラバーエで開催された
舞踊会へ彼を案内した。

彼は、彼の周囲に群る総ての人々を引
き付けずには置けなかつた。彼は
素晴らしい舞臺をコンパドリートの
下町に愛し、又詩人として下町の

◎「タンゴ」の伝説

彼は、彼の周囲に群る総ての人々を引
き付けずには置けなかつた。彼は
素晴らしい舞臺をコンパドリートの
下町に愛し、又詩人として下町の

彼は、彼の周囲に群る総ての人々を引
き付けずには置けなかつた。彼は
素晴らしい舞臺をコンパドリートの
下町に愛し、又詩人として下町の

◎「タンゴ」の伝説

彼は、彼の周囲に群る総ての人々を引
き付けずには置けなかつた。彼は
素晴らしい舞臺をコンパドリートの
下町に愛し、又詩人として下町の

其後、この時代が、西洋の音楽界に、

Rodriguez Peña" の "Grecos"、
Rodriguez Peña" の "Grecos"、
Rodriguez Peña" の "Grecos"、

◎ Epílogo

「それらの「タンゴ・マン」の
「それらの「タンゴ・マン」の
「それらの「タンゴ・マン」の

概して多くのタンゴ作曲家は現在
不遇の地位にあるのだ。

有名かつ有名な作曲家に上ルンシ
トマン、フランシス(Forstman Sjona
Vallada) は、ラット・メカニカル、



"TANGO"
dibajo de Mariano Boeyide

キントの苦心を忘れてゐる。従つて
タンゴ音楽的に進歩するに
共に漸次昔の面影は失れやうとし

「彼は、その胸
からはその試
練時代の彼と
切つて切られ
おつた。Co-

「現在、再びタンゴ音楽に
「現在、再びタンゴ音楽に
「現在、再びタンゴ音楽に

「彼は、その胸
からはその試
練時代の彼と
切つて切られ
おつた。Co-

「これは、果して何だ
「これは、果して何だ
「これは、果して何だ

賀正
金泉 虎雄

賀正
興村 禎吉

賀正
福岡庄太郎
在 アスンシオン

賀正
佐藤 貞則

賀正
仲里 蒲全
バル・アスツリアス

賀正
武田 薫

賀正
藤田 正夫

謹 賀 新 年

坂場三郎	指宿一男	上田秀之助	池田誠造	緒方義雄	稲富忠	市吉真市	中野萬次郎	菅沼九太郎	佐伯克太郎
川村一郎	長江定吉	中島元治	大島健	中本勇	原田旭巖	平川末友	廣中仁一	霧口醉華	鈴木帖九郎
水野勉		渋谷源助	山脇龍雄	山内輝彦	右田納助	谷口萬年	千原康生	蒲地菊助	渡辺八十吉

(前頁よりつづき)

あの淋しかった一年間の軍隊生活に未だ
 在学中の秀子からの手紙によつて忘れだけ慰
 められた事が、さうして、だん／＼生成して
 行く秀子の姿を見る時、いつの日かは此の最大
 の愛の胸に抱擁するであらう事を望んでゐた
 けれど、冷い世間の人の口の策を恐れて意気地
 なくも、悲しいけれどあきらめた僕、其の僕が今
 秀子の愛を破るとは……然し、正しい愛なら
 何処までも力になりしやうだから、此の余り
 に掛け離れた恋愛を如何して捨て、おけやう
 ……

秀子は裏切られた大きな悲しみに其の
 夜は寝ないで田川の事を考へてゐる。
 翌日は田川からの手紙を見ないで破つてしま
 つて、日閉ぢこつてゐた。空際にベントを引出し
 て腰掛け、傾く月を脊に浴び下ら忘れやうとし
 ても忘れられぬ幾つかの葉しい思出に耽つ
 てゐる。美代子が二度目の手紙を持つてくる。
 返事がないので又よこしたのであらう。
 「秀子はたぶん誤解してゐるんでせう。今の
 貴女に何をお話しても、唯誤解と疑念の二
 字におし流されるのぢやないでせうか。」
 然し僕は、貴女ばかりはより以上信頼し、より
 多く愛して下さる事と思つておりました。どうそ
 もう一度繰り合せてお逢ひ下さるわけにはい
 ないでせうか。けれど、秀子の傷いた心にどう
 して、逢ふ氣になれやう。月の光はいま／＼
 淡へて青白く照す。秀子はさつ／＼手紙を手に取
 つて胸に抱きしめ、「私を裏つた田川様、私は恋の前
 科者だつた貴男を恨みます。ただ、あの美しい
 思出の文は永久に忘れられませんが、唯お逢ひした其時
 許りは純真な田川様であつたと今も思つてゐま
 す。でも何れも終ひは、手紙に熱く、キスを思
 ひさうして、ス／＼にささいた秀子はさめ／＼
 と泣くのでした。初秋の夜は秀子の失恋の悲し
 んを包んで静かに更けて行く。

月日は夢の様に流れて、現在人妻となつてゐ
 る秀子には此の出来事も青春ロマンスの一つと
 して淡い思出の中へ消へて行く事であらう。(完)

落伍者

一四五生

吉田はサムマルテン座のステージの真下に坐席を占め乍ら半裸体なるダンスの短いスカートが風の如く舞上る瞬間に感するTに腦液を攪乱され、そのカクテルに十二分の早急を覚えるのだつた。そしてその昂奮はなんに宥閑された国房の中までも聯想の縫穴から漏れ、微ち毛細管の中にもほほも煙の如く浸つて暴感をたくましくした。
エロ！ エロ！

空には蒼白い街燈が疲れて淡闇の静寂は哀愁が漂つて、涼しい微し春の夜。家路を行く吉田の煙草に火をつけて、街角までよける間もなく、女の高ざつた足音をすれちぎつた。
「ベルドナーネ……」

何んかおどおどけつた声は微妙なジマスムの香だ。吉田は始めて女の顔を覗き込む様に見た。アッ……その瞬間息づまる様さ驚きと懐かしさを同時に感じた。真紅の唇、肉色のストッキングに包まれた胸線美、肩から腰へかけての柔かい曲線……性格的破産者としての吉田の魂をつつと筆を得ずして永遠にさらはと去つたF子の姿が彼の脳裡を交錯して行つた。
「おい、おい……」

挑発的赤いワンピース、凝視の絹のワローズが壁に乱雑にぶら下つてゐる。ダブルベッド、よこた寝苦しい夜具。吉田は手前の椅子に腰を下すとき、今更らしく女の顔を見つめた。だげそのワローズにはF子の顔に添つた優雅さはなかつた。そこ云ふより、水年輪を弄されて、激しく反抗して来たらしい憎愛の跡がカマフラージュされた自物やけの顔に刻まれた。赤く柔い唇が小さい輪を囲んで、キマメの煙を吐いた。
「木のお坊ちゃんね、ハハハ……」

はせる声でニコヤヤに笑つたアマリアの唇が凍れた。吉田は黙つたまゝ女のF子に似た顔を盗み見た。彼女が困つたらしく靴の先端を打合せてたが、鋭敏さうな眸を大きく開くと微笑し下ら真紅を肉の薄い唇を動した。
「何を考へてるの？」
「君に似た恋人を……」
「お、ハハハ……恋人あつて？」
「あつたが……」
悲痛な表情で彼の顔面に漂つた。女は吉田の……東洋的……
「……」

だつた。暫く二つの身体は……合つてベッドの上……

唇をヤグのて開いてアマリアの頬に紅が差し、それが顔面に滲ると温い情熱が彼女の血管を脈々と波打つて流れた。そして素早く吉田の背後に近寄り、吉田の身体を自分の方に引き寄せた。
「あたしあんなの恋人になつてよ。吉田の蒼白い頬を……」

「……」

白い雲が彼方の高層街の上に繰り流れてゐる。ペーパーメントに灼けた熱爪の痕をHELADOS、木影で呼ぶ行商人、騎手の友達の友達であるとき、VIVIDOR、六をわらつめる観客、生存競争の激しき火花が曇々たる鉄蹄の響きとよつてゐるのだ、競馬。

「……」

「……」

FELIZ AÑO NUEVO
Calle de Juncidos
y Cejidos.
U. YAMAMOTO
Calle Uruguay 705
U. C. Juncal 4810

賀正 植岡 實

賀正 中川 末友

のだ。三分間の餘裕を告げる呼鈴が、まじく響いた。血眼にふったファンは満潮時の如く、賽券口へと右往左往して殺到した。二十米階内形馬場には灼熱した太陽が昇天し、赤旗をしばった賽馬係はスタートの線に彼の馬首が揃ふのを窺つてゐる。群衆は自己の下馬評に口を飛ばし、馬主は雙眼鏡を角度に合せた。赤旗がサッと開いた。賽馬係の白いチーフスがよつと、揃つた足並で、流る、旗の様な色彩されたユニフォーム、ハヤタしいファンの騒音、後九百米だ、最後のカーブだ、そしてゴールだ。拍手が入る、必死らしい観衆の無数の顔がひきまつた。眸が燃えた。吉田は眞蒼にふつて半ば放神した表情で、馬券を握り占の下の「L」近くへと急いだ。六回、七回、レースは進み、予定の如く、Yale, Yale, Yale, Yale, ズマ。吉田の脳裡には給料とツラレとの差が火玉となつて駆け廻つた。まじりたる様を焦燥だ。夕暗が迫つて来る。群衆は勝負に對する興味に、つられずスタンドへと急いだ。あらゆる不機嫌を吹き集めた様子を、洗面に候侍を覗はねはらふに彼だつた。彼は替く窒息しそうな胸を

「……?」
「電気がついでる筈はないのに?」
「……?」

「……?」
「電気がついでる筈はないのに?」
「……?」

「……?」
「電気がついでる筈はないのに?」
「……?」

「……?」
「電気がついでる筈はないのに?」
「……?」

同じマ、ボールドの数字を仰ぎつ、つむぎはる様に生暖い空気を吸ひこんでた。ヤ、ヤ、ヤと熱狂したファンが騒ぎを聞くと、絶望の叫びをおいて、まじりたる様に椅子から立ち上つた。そして、駆けて来る木象を捕へた。「……?」
「……?」
「……?」
「……?」

「……?」
「電気がついでる筈はないのに?」
「……?」

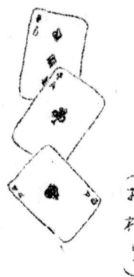
「……?」
「電気がついでる筈はないのに?」
「……?」

「……?」
「電気がついでる筈はないのに?」
「……?」

「……?」
「電気がついでる筈はないのに?」
「……?」

新鮮な血液がその体内から溢れるのであらう。まじりたる

「おわり」



<p>NIPPON TRADING Co.</p> <p>VICTORIA 727</p> <p>U. T. 38, MAYO 1642</p> <p>日本商事</p> <p>増山豊吉</p>	<p>賀正</p> <p>田川 清</p> <p>グイジマ、マリヤ</p> <p>賀正</p> <p>一月一日</p>	<p>賀正</p> <p>高橋 常作</p> <p>謹賀新年</p> <p>一月元旦</p>	<p>賀正</p> <p>梶田 修一</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------	------------------------------------------------	------------------------

夜は狂心……

ドン・カルロス

ガランとした室に村田は黙然として黄をくやし初めた。

一匙の肉とパンを嚙つて其の目を送る彼
——若し要があつたら、新しい夕餉に家
園樂の味はひがあるだろうに……胸に
迫る孤独の淋しさを感ぜながら、でも
漸く勇氣を出してパンを嚙つて見たが思
ひなし、其の手は震えてゐる。

丁 独身者の食事はまた、同じに終つた
時 疲れた身を椅子に倒れ下り、未末の大
富豪、未末の大政治家を空想に捕いつて
幾分空虚な心を慰める彼だつた。

一匙の曇りもない大空には、幾多の星
がパチ／＼とまた、また、また、

歓喜、悲哀、等々、いつけた夜だ。

寂しさに耐えかねた村田は、やがて街の
灯を眺め、村田の目に、愛嬌あふむ街の
灯が次々と接吻しては消えて行く、青
赤黄……家根にかけられた大きな広
告燈が左右前後に相対して競争的
な眼み合ひをつける。

とある町角に村田は電車から降り
出された。……酒と女……
街灯を背にして、淡い影をボンマリ地上

(29)

はうつらうつらと眠る村田は、こり
咳くと口を跳め入るのだつ
た。

BAR: BAR: BAR: BAR
の本告燈は異性への憧れに
向える若者の血潮を沸かし
初める。

ぼろぼろと思ひ返つてゐる村田の耳
を射るようには、レトロの鐘が十時を
報する、夜の都の街が二時
を告げる、その音を耳にする
と、さびしげな村田の姿は、フェリスア
スBARの扉に吸ひ込まれて行つた。

酒と酒と、そして異性の放つ香りと
を混ぜてかへした様子が、汚れたにほひ
を、フンと鼻をつく、中間に居られた
電燈の光は、煙りの中に、苦しげだ。

飲つたの眼は、新しい顔入者を中心
に、チラツと閃きを放つて、その頬に艶麗な
微笑を浮かべる。

「何んだ君も来てるの？」
村田は彼方此方に椅子を囲んでゐる
パイサーに、軽く挨拶をしまつたら、サ
ロンの真中に空をこつた。

世の不景氣何物ぞ……夜の都の街の酒
場を巡る彼達の前にはこの不景氣と
言ふ一語も、何の及ぼさぬ、彼等
とつては唯酒と女、そこには過去も現
在も、苦しみも、悶えもなかつた。

異性の囁きは時おり起るジマズの音
に伴れて情熱の炎と化して行く。

「チエーケータル？」示威運動のよう
に彼の女達は妖艶な目を輝かしては
後度を通り過ぎて行く。

「オー、MURATA、今夜もまたの
「ウン、ローザが忘れられねえ、此処
の味、……」
待つてゐた者だ、時のように村田
の眼が笑つてゐる。

高台で音楽を奏する男と女の目が見
降ろす様に四方に散る、恨のしやうか
顔だ、ピタゴの音でミロンゲロの時
時を突き刺す様に唸り出す、燃える熱
魂を、ペド、ネオンに含ませて……

「今夜宿つてくれる……」
可細い指先を、村田の襟の上のせま
甘える様子を促す、村田は、ホロ酔
に、紅く染めた目蓋を、ころりとさせ、
胸を、胸を、どうにも足りそうもな
胸を、胸を、どうにも足りそうもな
胸を、胸を、どうにも足りそうもな

「明日の日和が晴れやうと曇らうと
ま、ま、……」
村田は、くちくちと、沈み顔だ。

然し本能の性慾は、ニョキ／＼と頭を
けだして、エ、エ、エ、その車行つち
ま、ま、……

「ウン、ま、ま、……」
村田は、くちくちと、沈み顔だ。

村田は、くちくちと、沈み顔だ。
の顔を見る、女は、ほろ／＼と、ニコリ笑
つて、村田の、頬に、接近して、来た、
様、甘い、様、女の、吐息が、情慾の、洪水
だ。

村田は、くちくちと、沈み顔だ。
り、は、し、や、ぎ、た、い、よう、な、気、持、に、か、か、れ、る。

彼女達の示威運動は客の入つて来
る度に猛烈になつて行く、妖艶な笑
ひに魅せられた男性の誰も、嬉々
と、戸外に姿を消し去る。

「戦を交へた彼女達は再び酒場の
扉をくぐる、そして、未だ、どうも思
案に迷ひ下り、椅子を囲んでゐる連中
の中に、刺り込み、下り、最後の策戦に
苦心するのだ。

一つの接吻に消え去る者、軽い微笑に
浮き上る者、其の語に倒れ行く者、等
々々……異性の美香に酔はされ
た彼等は、酒の元氣に誘はれて、皆一
戦を踏むべく立上つて行く。

「あの辺に居た俺の、マミロ、は、帯
つた、わい？」
「え、もう、どうに……皆一人づつ、伴れ
まつたわ……」

「マン、平常物園いで通る聖人顔の
破奴等も女の色香には勝てまい……
男つて奴等は皆異性に対して、弱いもの、
溺れるものさへあるんだから……」
村田は、くちくちと、沈み顔だ。

「ツと微笑む、人々待たて時は、コソ／＼
と刻んで行く。

古ぼけた柱時計の針が一時を廻つ
た、スレクスタ……は、之を最後とは、
湧き立つ様、ジマズを奏し、初め、
何処から起るともなく、其の音に合
せて、一勢に足踏み、初つて、意心に調
子づける。

賀正

羽柴 哲

賀正

土井 増吉

賀正

本田 哲

賀正

佐藤 四郎

音は止んだ。樂器を小股にしてオルケスタ連が帰って行く。跡には疲れた女達。さびしきうらさだれてゐる。

「分エー、ウツシモ」

「最後……」

「二つのゴッソフカチンと合ふ音が……」

「村田とロトサは同時にニッと笑つた。」

「ア、ア、ア、ア、ア、ア……」

「残された幾つもの顔が羨しうに二人を見送る。」

「まもなく二人は戸外に立つてゐた。」

「自動車を寄せては送る門番の顔に意味ありげな笑み。浮ぶ、上気した頬を冷たい夜風が氣持よくなで、過ぎる……」

「交通巡査は眠むさうな目をこすりながら酒場の戸が閉く度毎にちよいと見てもまぶしさを隠す。待ち疲れたような自動車の群は、酒場の前から一すじに黒線を引いた様に黒々と連鎖してゐる。夜更けの街は静かに眠つて行く……」

「ヤッて、村田と彼女を乗せた自動車は爆音を聞かずに下り滑る様に走つた。」

「自動車が止った。女は村田を促すと静かに家の中へ入った。鼻をつま、れ、れ、れ判らぬ様子の廊下にコトコトと靴の音が鋭く反響する。物慣れた様に女はコトコトと階段を上り初める。」

(30) 三才 九百六十一号

「数分後二人は女の部屋で終を投げ出す様に椅子に倒れ下り話し始めた。村田は紙巻をさし美味さうにフカク、ささし下り悠るやかに立昇る紫色の煙を眺めてゐる。」

「逆々俺れも沈没がフツン……」

「自分自身を嘲笑り思ふ存分罵つて見度い様を氣持になつて、そのまゝ、口を固く結んでしまふ。」

「上着を……着ていから……」

「上着をとつた村田は何ぞ珍らしい物でも見るように室中ジロジロと見廻してゐる。」

「ウツツ長い奴が居るよ……鼻の下の……誰だらう。こんな立派な口ペロヤトカドール、高價な玩具類を賣いでゐる奴は……」

「ホホウ、疲れたような裸体画が一枚……だ、この壁の真上に掛けてあるのは……」

「積る夜毎に媚を賣る彼女達には、彼女の自由を束縛する情夫がある。夜毎の客はそれと知りても通ふ都度、恋の炎は燃え盛り、惚れたはれたの世迷ひ言が、遂に此の室のロベロとなり、トカドールとなるのだ。」

「恋する者にとつて、名家の令嬢も卑しい賣春婦も上下の差別はない。村田は考へれば考へる程、益々深い沈黙に落ちて行く。」

「……」

「彼の目ヂツと女の顔に、それ初める。夢見た様を優しい目だ、柔かそうさ美しい金髪が話す度に揺れる。褪せた唇に白紅をつけて笑ふ度に、白い歯がチラチラ可愛く、調和のとれた鼻から微かな吐息がもれて、じつじつとした右頬のつけ黒子、グイヤに氣を持たせる。」

「彼女にも嘗ては無邪気な子供時代があつたらう。両親に可愛がられ下り暮した楽しかつた幼女時代も、青春を誇り、青春を謳歌した処女時代もあつたらう。」

「村田はまじく、女の顔を見た。彼は三度目に来た時、彼女の身の上話に泣いた時の事を思い出して下り女の側から離れたくないといふ氣が強く起つた。」

「安やらしい男の方には弱いの……」

「糊られると知りながら……」

「あの時彼女が長い物語りを終へてうるんだ青い瞳々に熱い哀しい涙を浮かべながらさう言つたのをハッキリ覚えてゐる。」

「俺に惚れた女だ……自惚れではない。村田は、われとまづ心に、こう呟いた。……だがあれ以来何も言はずに、静かな女の態度は、どうした事か？」

小島に惚れてゐるから……ウツシモ？俺自身だつて満更……村田は毛布をばね上げて床の中へ入る……ガラ／＼軌り下り遠のいて行く車の音が寂しく聞える。二つの魂が合つて、夜は狂つて行く。(END)

賀正

内田貴像

賀正

田中数好

賀正

福田浅吉

賀正

在東京

兵頭透

賀正

在長崎

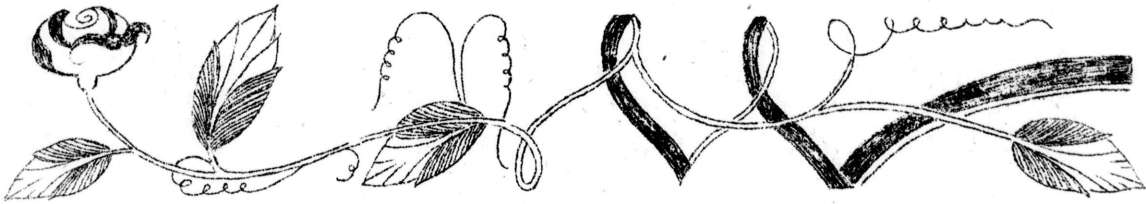
田原豊

賀正

吉川六郎

賀正

高木一郎



詩

短詩五篇

和久充

愛慾の爪が
地上を吹きまくる
それに當るとき
寂寥の予感
裂傷を靈魂に新す
寂しすぎる人生！
乾燥せる時と「経過」は
澆溺たる人間の情熱を
洞ろに吸収して行く
お、……
愛慾の爪が吹く
靈魂の裂傷は
冷たく疼く。

林は森は静かだ
落葉が散る……
地に
掃すべきものは
無音に
吹へられたところへ行く
朽ち葉！ 朽ち葉！
私は
枯れ葉を空く握りしめた。

沈黙の冬だ
感謝せよ
徹した空は無限に松がり
思案の痕りは
冬木の下にある
息をこらす大地
伸びゆく多くの生命

空！ 空！
月光は確かに降る
沈黙の冬だ
感謝せよ。

私の頭は今
過去で一杯だ
疑念—苦悶—暗冥—
確たる神は
貪しい頭腦を
混沌の闇にどこかある。

月は昇る
音響は大地から次第に立退く
あ、光ある懸望よ！
然し、
叫ぶには余りに貪しい心の硬軟だ
天と地……
自然と人……

冷たい接吻

蘇南

冷たい接吻だ
やり場のない思ひで
どうしてか熱い一帯がポトリ
かと私は女の面を見る
女……
この顔が魔物だ
私は何を踏むように
苦しい抱擁に微笑む
やわらかい肌だ
紅い唇が褪せてある
どんなに腫れあがり
私はもう耐えられない

ふるさとが恋しい
母は走ひたつた
妹も年頃になつたらう
唯だ私は哀しくなる

夕べコた……
煙りだ……
深刻ささびさだ
私は冷たい接吻に微笑む
一九三二——

或る夜の夢

彦左

物凄く接吻の嵐
ふくよかな胸の奥で
彼女の心臓が爆発した
情慾の華をすく
瘦せしめた彼の唇
彼女に
うすほんやりした半月を見た

彼女の魂は
氷しい墓場を通過してゐた
ふらふら彼女のは肌
おしやれお若者達
花束の行列だ
墓場で亡者の乱舞だ
やがて……
しびれる様を全身のわななき
彼女は重苦しい墓石の下で
グスグス
ネケラの合唱を聞いた
——三三三〇——

女

蘇南

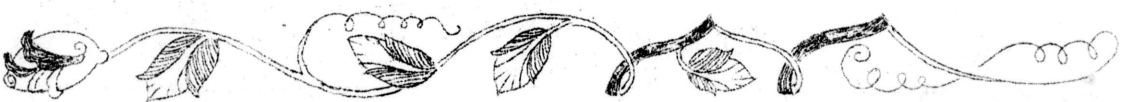
淡い灯のまたぎに
あやしい腕がぐらむ
吸ひ込むふうふ香り
胸の鼓動がドキンと響く
深まった夜更け
どんよりと鐘が二つ鳴る
煙りの中でやさ顔がニッと
生温い息がはづむ
死のようか冷たさ
闇黒の夜は静かだ
情炎の閃のき
桃色の胸を固く抱きながら
いくつもの顔が通り魔のように
笑ったり泣いたり
女は何を考へてる……
わびしい氣持がしと迫る。

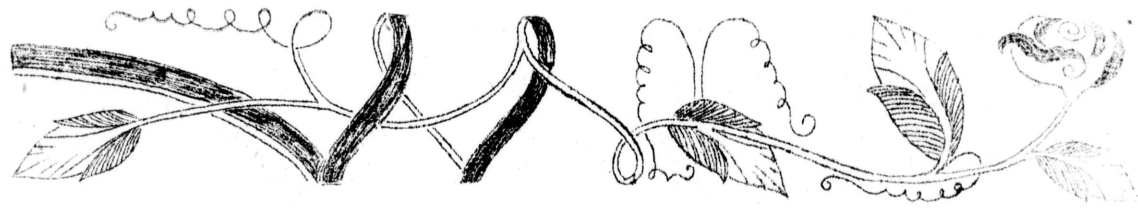
俳句

アカシア

南北

條懸の街よりアカシア街と名なる
この街をよぎる汽車あり花アカシア
大木にしてアカシアの花すこし
花アカシアいとゆるやぐに落つるなり
やがてまたアカシアの花落ちて来し





詩

便り

秋嶺

下さん

青春は次第に消えて行きます耐えられぬ程お寂しさ、私はふと今日の通りすがりの美人を思ひ出す。

眠られない夜です、孤独だらう……

電車が闇を突走る音が聞えます。

女の事を思ひ下ら……

時を刻むセロンの音は淋しいです。

昔にうへらうと聞つてもあの音です。

女の女……夢の女……

男もやはり弱いのがしら……

下さん
私の青春は淋しく消えるのです。一時もすましました。寝ます。楽しい夢を追ひ下ら……

スヨハラ

短歌

折にふれ

捨小舟

この夕
パライスに独り佇めば
間にまほろむ走らうの母。

連歌

亡兒の雲へ

青林生

穀は一寸積出し帰へりけり

曉のわがめに
病母を思ひ居れば
かむふり凄く雨の降り末の
塚へてふ君が幸を祈りつ、
疾ふせしめ
何の涙ぞ。

あきらめの恋にしあれど
この日頃 遠みたと思ふ
未練男は。

そのひみの君が姿も幻も
今ははがふし
押花のこと。

前え出する若き命を
しひたけし君にはあれど
遠みたと思ふ。

若き日の
純情もなほ夢も消え
たはらさき酒をのみ恋ふ。
行きづりの女の姿のあまりにも
君に似つれば
胸のいたみつ。

運命は我が性根をば
ためごととするがの如く
つれなかりり。

—ニニニ—

漢詩

日支関係

雨西生

萬邦 囑目 日支 交、
飛檣 頻報 祖國 情、
東洋 今 日 夙 雲 魚、
南滿 眩 野 火 雨 卷、
平和 合 議 々 紛 出、
机 上 空 論 國 徒 勇、
平 定 蝨 賊 無 他 策、
唯 有 睥 睨 日 本 刀。

(五月一日)

時事川柳

満洲事変を詠む 念然坊

。極條溝の爆破

。ヤンコ口の火ぶり飛んだ火車を出し

。國際聯盟

。ブリアン議長

ブリアンも吉沢だけはまるの兼ね

吉沢代表

。施 肇 基

聯盟じゃ肇基相当声がツれ。

。張 學 良 の 失 脚

親不幸者と學良勤告され。

。蔣介石の下野

大養の節さん苦手と遠慮をし。

。うさぎ川柳

念然坊

サンタクロス南米は汗をふきく、東

大鵬の志 雜子ともならず

折角の鵬志 波止場の泡と消え

不景気は此の國はかりと皆思ひ



内外時報

西國高等法院長

フガアアルコル博士逝く

英國元勳の一人にして高等法院長なるフガアアルコル博士は...

独賠償の軽減を要す

ヤング案 專向委員会の報告

銀行の諸回によりて独賠償の軽減を要す...

二月二日開議 聯盟主催の軍縮會議は英前...

外相ヘンダーソンを議長として二月二日開議に決した...

事後承諾のモラトリアム

米下院通過

モラトリアムは米下院に於て可決し...

して便箱を揮ぐ兄弟の争業を大に助け来た...

法王宮殿の図書室崩壊

死者五名を出す

羅馬法王の居城ヴァチカン宮殿内の図書室は...

米紙記者團

ストレ強盗の情婦を匿す

ストレ強盗の情婦を匿す...

謹賀新年

正月元旦

宮園新之助

タイトリア譲る

病気のたの染色洗濯店日本人の方に好条件にて譲り...

正月用日本食料品 たくさん着きました

中川商店

最近ニュース

沖六十議会議開会

(廿三日東京発) 沖六十議会議は早...

参謀総長に御就任 (廿四日東京発) 全陸軍感戴の...

閣議を各神宮に報告 (廿三日発) 祖國報告の爲の首...

皇軍錦州出動に就て (廿四日發) 米大使アブスは...

滿洲増兵 閣議で承認

(廿七日發) 本年増兵の臨時閣議...

張學良の密使 朝鮮に潜入

(廿四日發) 朝鮮内に宣大の使命...

某國外交團 戦争挑発

(モスクワ廿四日發) 分農當局が...

廣田大使暗殺陰謀發覚 (モスクワ廿四日發) 分農當局が...

張學良の密使 朝鮮に潜入 (廿四日發) 朝鮮内に宣大の使命...

お正月用品 日本酒、高野豆腐、湯茶、その他

御婦人服の仕立や 着発日取 本出兄弟染色店 裁縫部

あらびあ丸 (東南阿拉伯) 一月五日出帆 一月十九日入港 二月廿九日出港 大阪商船株式会社

祖国近状

世界に誇る川崎の新戦闘機陸軍で採用

一時間四百料の怪速機

現在陸軍の航空隊が常備してある甲式四型戦闘機(發動機イ...

神戶川崎工場に於て昨早製作された川崎の五型新戦闘機は陸軍の第一次試験に失敗した川崎...

陸軍では中島新戦闘機と其の長短相補ふ意味に於て改造された此の川崎新戦闘機をも採用する事...

敬興税

コビー一杯にも容から税をとる

東京市では来年一月元旦から実施する敬興法の費用を前出に頭を悩ました結果、コビー一杯はダンスホールの客に敬興税といふ特別税を課して六十九万九千円の収入をあげようと計画を樹く臨時財政調査会に提案した。

龍の島

娼妓の年限短縮

警視庁では公場の取締りについて本年春、国際聯盟からジョンソン博士の来朝を見ても、非常に刺激され、各方面から研究材料を蒐集し、実地について種々研究して来た。...

花嫁サーヴィス

カフェー珍趣向

花嫁サーヴィスは全店お花見気分何々、秋になれば紅葉狩りサーヴィスといふのが、エーといふカフェーの趣向はいつも気が乗らなもので、一つその尖端を行つてやれと池袋のスカウターが考へつたのが、よりによつて古い花嫁サーヴィス。

公告

末七昭和七年一月一日四時迄日午前十一時ヨリ公使官邸に於て拜賀式ヲ行フ

昭和六年十二月十八日 在日日本帝國公使館

自昭和六年十二月三十日 至昭和七年一月三日 右期間休業 日本帝國公使館 日本帝國領事館

忌中付

年末年始の礼を欠く

石井兼利

雑報

公使官邸

新年拜賀式

元旦午前十一時より市内アリヘーニヨス街一三四番公使官邸に於て例年の通り新年拜賀式を挙行せらる。

日本小学校新年拜賀式

日本小学校は元旦午前九時半より日会講堂に於て小学児童の新年拜賀式を挙行す。

山崎公使の

ホスチ前外相招待会

山崎公使夫妻は去る廿八日午後七時より官邸に於て、今回盟国全権としてジュネーブ国際聯盟軍縮会議に出席のホスチ前外相及び随員の送別のため同氏夫妻を初め外交團・盟国官憲を招待して茶会を催された。

日本小学校卒業式

日本小学校は旧曆廿四日午後三時より左記順序に依り、宮腰領事館の禮堂及び父兄参列の許に於て卒業式を挙行し、式後卒業生及び在校生の学藝会を開催した。

- 一卒業証書授與
- 一北川校長訓辭
- 一宮腰領事祝辭

一福屋父兄代表謝辭
一有水秀子在校生総代送辭
一木原克巳卒業生総代答辭
一卒業の歌
以上
因に本年の卒業生は木原克巳・福屋孝子・近藤代子の三名。

山崎公使

コルドバより歸武
コルドバ州ラウソブレに旅行中の山崎公使夫妻は、相部書記生同件、旧曆廿三日午前十時歸武。

雪下武官

コルドバ飛行機製作所視察
雪下海軍武官は夫人同件旧曆十八日コルドバ市軍團陸軍飛行機製作所視察のため同市に出張された。廿三日山崎公使一行と共に歸武。

リネデジャネイロ丸入港

昨日一日日本へ向け出帆
商船リネデジャネイロ丸は予定の如く去る廿二日午前九時入港。四番下ンクに繋留中であつたが昨日一日午後四時、北米パナマ經由日本に向け出帆す。

久保田晴光氏来便

在奉天滿洲區大教授醫學博士久保田晴光氏は南米視察のため去る廿一日リネデジャネイロ丸にて来便。シカゴホテルに投宿中であつたが昨日一日同船にて北米に向け出帆した。

岡田領治氏の結婚

岡田領治氏は去る十九日夜、かねて婚約中の西岡しづ子さんと童婚の契を挙げられ、市内セリット街

六六五番に新居をかまへられた。
諸喜田(才)、瀧底治豊、神谷仁信、志伊良正良、全カマト、藤原藤五郎、久志根幸吉、石川信宗、宮城信二、大嶺幸光、樹橋、藤、英那彌三郎、新垣、大信、愛屋盛仁、比嘉正一、新垣博(沖繩)。
全船にて帰國した人々
山川三男、長谷三郎、久保田晴光(北米まで)

あらびあ丸入港

商船東南商船あらびあ丸は一日廿二日午前入港。東島五日午後四時出帆の予定。

金融組合設立計画

大山綱四氏發起で
大山綱四氏は發起人となり、資本金十万円を以て同船間に金融組合を設立せんと各方面に活躍中である。

満洲醫學大教授

久保田晴光氏来便
在奉天滿洲區大教授醫學博士久保田晴光氏は南米視察のため去る廿一日リネデジャネイロ丸にて来便。シカゴホテルに投宿中であつたが昨日一日同船にて北米に向け出帆した。

口市野球リーグ戦

日/出軍の出場日割決定
口サリス市に於ける野球リーグ戦は過般来全市にて挙行されてゐるが本年度に入つての序人チームの出陣の出場日割はたの如く決定された。

一月三日(日) 日/出A対ウニベルシタリス
一月四日(月) 日/出B対サレミニエント
一月七日(日) 日/出A対サレミニエント
一月廿四日(日) 日/出A対プロビンシャル
日/出B対ベンブール
以上

人幸

小川勇氏(兼松商店長)リネデジャネイロ丸にて来便。
▲山崎公使夫妻、全國男(比才次郎氏)等、全船にて帰國に向ふ。
▲家坂商船支店長、リネデジャネイロ丸にて伯國に向ふ。
▲野村謙吉氏夫妻、口サリス市より出武、滞在申。
▲國分鉄雄氏(並科医)旧曆廿二日コルドバ市より出武五日歸武。
▲小郡彌全氏、五日出帆のアラビア丸にて帰國の由。

お正月の日本食料品到着!!

醬油(萬甲万上等)一樽(二十ペソ)
筍(罐詰)一箱(一五〇)
福神漬(大罐)一箱(一三〇)
蒲鉾(一六〇)
赤貝味付(一八〇)
力餅(一箱)一箱(三三〇)
芋餅(一箱)一箱(三三〇)
干豆(一箱)一箱(五〇〇)
わさび(極上等)一箱(五〇〇)
こんぶ(一箱)一箱(四〇〇)
花あられ(小袋)一箱(三三〇)
花あられ(大袋)一箱(三三〇)
味(の素)一箱(三三〇)
味(の素)一箱(三三〇)

貸問

洗濯店又は小賣店向きの
サハラ、二室、日本人の方にお貸ししたし。
アラサセテナリスの近傍、交通の便至極よし
市内フランクリン街六九五
黒川

西坂貫太商店

電話(パワカス) 二九一五
市内アウストリア街一〇一

FELIZ AÑO NUEVO

1932

婚礼其他御宴会に
御利用下さい。

日本料理も出ます。
日本菓子もあります。

廣
東
樓

支那料理
食味王國

RESTAURANT

CANTON

— AUTÉNTICA COCINA CHINA —

TODO GASTRONÓMICO

DEBE VISITAR NUESTRA CASA.

LAVALLE 1525 — U.T. 38 MAYO 2242

ALMACEN
"NISHIJAKA"

謹
賀
新
年

日用食糧品

味噌醬油漬物製造販賣

西坂商店

市内アウストリア街一〇一
電話 バラカス 二九一五

TINTORERIA
LA HIGIENICA

ID DE
K. FONDE & Hnos
MAIPU 856 - U.T. 31 Retiro 0544
B. A.

恭
賀
新
年

正月元旦

本出嘉太郎

全小市

マイプー街 八五六
電話 レイロ 〇三四四

TINTORERIA
"SAGA"

MEXICO 1424
U.T. MAYO 1259
B. A.

賀
正

洗濯店「佐賀」

北島覺逸

市内メヒコ街 一四二四
電話 マーヨ 一三五九

恭賀新年

正月元旦

たるま亭

松田清市



市内カサヤ街七〇七
電話 ベーニ 〇二〇三

FELIZ AÑO
1932 NUEVO 1932
THE JAPAN BAR

謹賀新年

ヂヤパンバー

新垣徳衛
大城永蒲

市内ベニヤンシヨクデマヨ街四七
電レテローロ 〇六七五

25 de Mayo 427-37 U.T. Retiro 0675

TINTORERIA
"YOKOHAMA"
DE
C. SUGAWARA
MAIPU 683 U.T. 31 Retiro 2168
B. AIRE

賀正

正月元旦

洋服帽子クリーニング及修繕

横濱高等染色店

菅原長吉

恭賀新年

正月元旦

御下宿

末廣館

尾崎幸千代

市内パトリシオス街一九
電アエノルテン 五七三五

ALMACEN Y BAZAR
DE

T. NAKA GAWA

SUAREZ 1300
U.T. 0869 Barracas

賀正

正月元旦

アルマセン兼バザール

中川商店

市内スアレス街一三〇〇
電話バラソカス〇八六九

CAFE
"JOL NACIENTE"
DE
MATUMOTO H^{nos}
SAN LUIS 1122, ROSARIO

賀
正

ロサリオ市
カフェ・ソル・ナシエンテ
松本辰
全 秀
牧野末
松喜平

CAFE TOKIO
DE HIRAY H^{nos}
SANTA FE

謹
賀
新
年

サンタフェ市 カフェ「東京」創立一九二四年
本店 平井庄
第一支店 全全
第二支店 全全
サンマルティン街 三三三
リバダビア街 三〇〇
サンマルティン街 二四四〇

CAFE TOKIO
POSADAS (MISIONES)

謹
賀
新
年

昭和七年正月元旦
ホサータス市
カフェ「東京」
山口喜代志
全 竹一
全 實之助
全 六郎

CONFITERIA Y PASTELERIA

LA JAPONESA

MENDOZA 1084. ROSARIO

賀正

昭和七年一月一日

ロサリオ市
コンフィテリア・ハポネサ

石井兼利

CAFE YOKOHAMA

SANTA FE 1172
ROSARIO

賀正

昭和七年一月一日

カフェ・ヨコハマ

小園正次郎
中金庄成
狩集清

CAFE, RESTAURANT Y BILLARES

JAPONES

DE HIGA Y CIA
CORRIENTES

賀正

昭和七年一月一日

コリエンテス市
カフェ・イレストラ
ハポネス

比嘉徳次郎

儀部碩榮

CAFE JAPONES

CHVILCOY F.C.O.

遊佐 壽
藤田 友八
カフエ・ハポネス
チビルコイ市
昭和七年正月元旦

賀正

CAFE NIPPON

A^{DE} DE MASSY, LINCOLN F.C.O.

伊藤 茂左門
坂本 倉太
カフエ・ニッポン
リンコルン市
昭和七年正月元旦

賀正

1932 FELIZ AÑO NUEVO 1932

"AU PETIT DUC"

SASTRERIA DE MEDIDA FINA

(ATENDIDA POR SUS PROPIOS DUEÑOS)
(NUMEROSOS CLIENTES JAPONESES SE VISTEN EN NUESTRA CASA)

CAMARA Y CALVO

SARMIENTO 1073

U.T. 35 LIBERTAD 1279

高等
洋服店
ウ・フ・デー
デユク
サルミエント街
一〇七三
電リベルター
一三七九

CAFE JADON

DE J. TAKEUCHI

CASA MATRIZ
CALLE SAN MARTIN
658
ROSARIO

竹内重吉

ロサリオ市
カフェホン

正月元旦

賀正

SUCURSAL
CALLE SAN MARTIN
935
ROSARIO

賀正

正月元旦

ALMACEN
CASA ORU
CORRIENTES

コリエンテス市

アルマセン・カサ・ドリ

津曲 諦二

PENSION Y HOSPEDAJE RESTAURANT JADONES

DE

HIGA HROS

CALLE BOLIVAR 440
POSADAS
MISSIONES

正月元旦

謹賀
新年賀

ミッションネス

ホサーダス市

レストラン・ホネス

比嘉榮一兄弟

CAFE "TOKIO"

DE
EIJI NAKAMA

TANDIL

F.C.S.

賀正

昭和七年一月一日
タンデイル市
カフェ・東京

中間榮二

CAFE NIPONES

DE
T. TSURU

AZUL

F.C.S.

賀正

昭和七年一月一日
アスール市
カフェ・ニッポネス

全鶴
長長
馬次

CAFE JAPONES

DE
MATSUJAMA Y SHOJI

PARANA

E. RIOS

CASA MATRIZ
URQUIZA
519

松山嘉次郎
庄司善右衛門

ハラナ市
カフェ・ハポネス

昭和七年一月一日

賀正

SUCURSAL
25 DE MAYO
64

CAFE JAPONES

CORRIENTES 2561-3

U.T. 47 CUYO 4383

B. SAIRES

昭和七年正月元旦

賀正

酒井和子

七草木万之丞

CAFE THE JAPAN

GENERAL HORNOS 16

U.T. 23 B. Orden 4540

昭和七年正月元旦

賀正

カフェ・ザ・ジャパン

及川晋治

ヘネラル・オルノス街一六
電話・アエールテン 四五四〇

J. ONISHI

Importador de Articulos Generales del Japon

24 DE JUNIO No. 36 (U.T. 5148), CORDOBA

昭和七年正月元旦

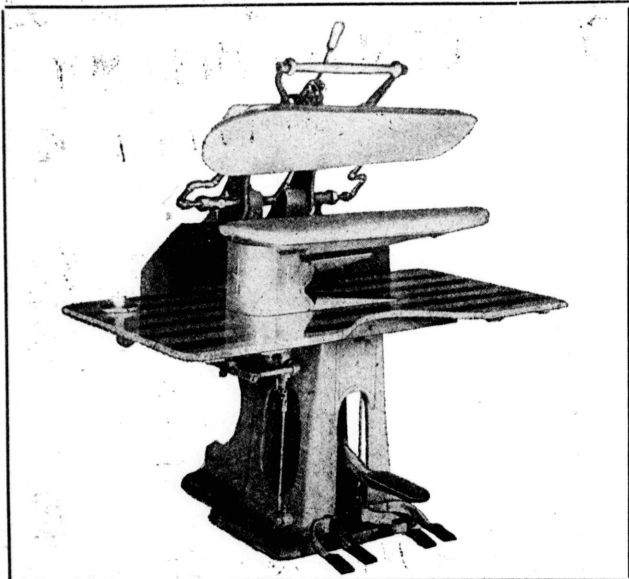
賀正

コルドバ市

大西佐一郎

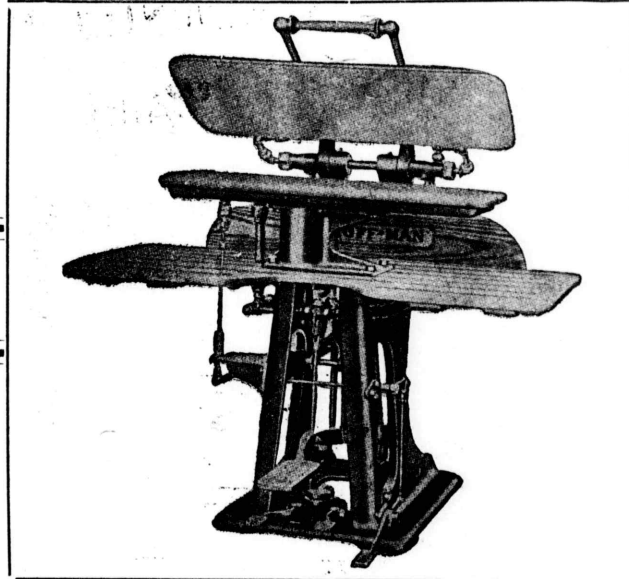
MESES DE PLAZO

Modelo "VCO-7"
Para Tintorerías



CAPACIDAD PARA PLANCHAR 40 TRAJES POR DIA

Modelo "BTF-1"
Para Lavaderos



MODELO ESPECIAL PARA PLANCHAR:

Ropa interior de seda, Pijamas, Guardapolvos, Camisas
Cuellos, Cortinas, Ropa de brin, Sábanas, Mantelería, etc

Nuevo Modelo "H-R 10"
Para Planchar Sombreros

LAS VENDEMOS

CON O SIN HORMAS

PRÁCTICA

ECONÓMICA

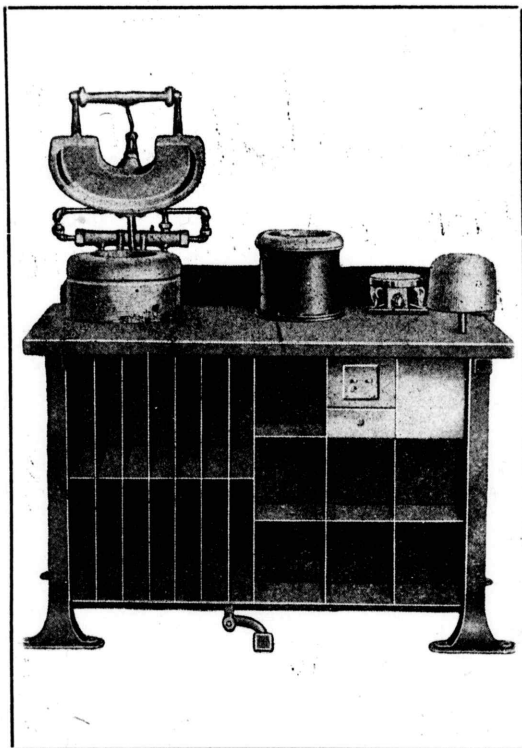
SENCILLA

• •

Como todas las máquinas
que vende

Hoffman

son las mejores.



ESTA MAQUINA SOLUCIONA
RA EL PROBLEMA DE MU-
CHAS TINTORERIAS, LAS QUE
YA NO TENDRAN NECESIDAD
DE MANDAR A OTRO TALLER
PARA PLANCHAR O CONFOR-
MAR LOS SOMBREROS.

• •

Pase por nuestra oficina
en donde tendremos el mayor
gusto en darle más datos y
precios de esta máquina.

• •

Puede ser acoplada a su
máquina de planchar trajes,
es decir, trabajar con la misma
caldera.

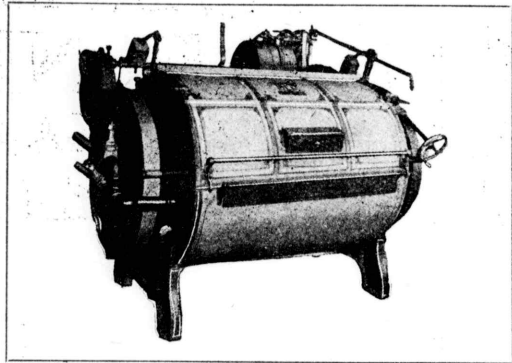
RIAS PARA LAVAR Y PLANCHAR

HOFFMAN MACHINERY CORP.

H KILSBY
INTANTE

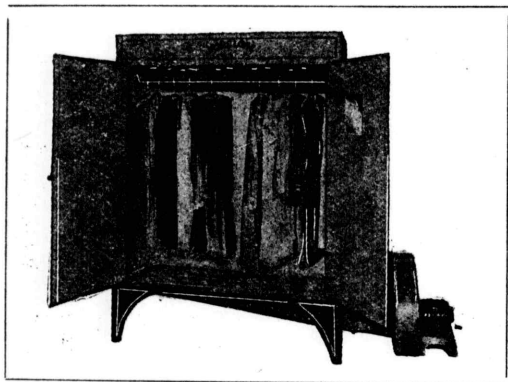
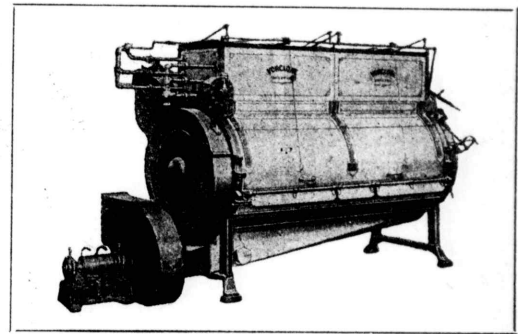
U.T. 35, Libertad 1425

VENDEMOS A 18



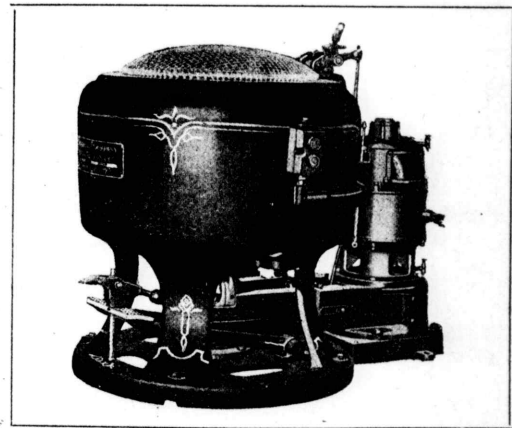
Modelo "ACE" para lavar. — Fuerza a correa o motor eléctrico. Medidas 76 x 101 centímetros hasta 122 x 305 cms. Armazón de metal y cilindro de madera Maple. Cojinete de bolas en todas las partes movibles importantes.

Tambores secadores por medio de aire calentado a vapor. Fuerza a correa o motor eléctrico. Ventilador eléctrico circulador de aire. Medidas 76 x 100 cms. hasta 116 x 305 cms. La última y más perfecta máquina en su estilo ofrecida al ramo hasta la fecha.



Cabinas secadoras por medio de aire calentado a vapor. Ventilador eléctrico a motor circulador de aire. Medidas 76 cms. hasta 305 cms. de largo. Tamaños adaptables a cualquier negocio, ya sea grande o reducido.

Modelo "ACE" extractor funcionando a correa o motor eléctrico. La máquina más poderosa y durable hasta ahora fabricada. Nuevo transmisor patentado y cubierta de seguridad.



COMPañIA *Hoff-Man* DE MAQUINA

(UNITED STATES)

LIBERTAD 182
BUENOS AIRES

ROBERTO
REPRESENTANTE

TINTORERIA
"JAPONES"
DE K. ISHIKAWA
CORRIENTES

賀正
昭和七年正月九日
コリエンテス市
染色店「ハホネス」
石川 亀下

RESTAURANT
JAPONES
DE J. NAKAJATO
CORRIENTES

賀正
昭和七年正月九日
コリエンテス市
レストラン「ハホネス」
中里 新忠

TINTORERIA
"TOKIO"
DE
M. SHIRA
SALTA 2150, ROSARIO

賀正
東京「染色店」
志伊良松

喪中に付き
年賀の礼を欠く
ロサリオ市
新垣喜盛兄弟

TINTORERIA
 "TOKIO"
 EN BERGRANO
 MENDOZA 2450
 U.T. 2819 BERGRANO

TINTORERIA
 "JAPONEJA"
 DE
 JULIO M. MIYATA
 PAMPA 2490 - U.T. 73 PAMPA 3560

謹賀新年

賀正
 正月元旦

岩尾朝平
 平田綱吉

宮田政子
 濱田慶藏
 山元利行
 宮田義雄
 濱田清信
 新屋吉
 前濱牛

CAFE TOKIO
 SALTA, P.C.C.N.A.

賀正
 正月元旦

大城武正
 王城新次郎
 カルタ市
 サルタ市

忌中に付、年末年始
 の礼を欠く

小那覇全吉

TINTORERIA
 "NIPPON"
 DE
 K. SAKAMOTO
 LINCOLN F.C.O.

昭和七年正月元旦
 洗色店「ニッポン」
 坂本倉太

CAFE TOKIO
 25 DE MAYO 14-22
 TUCUMAN F.C.C.A.

昭
和
七
年
正
月
元
旦
 トクマン市
 カフエ・東京
 宮小吉
 本國崎
 嶺共
 筆雄吉

1932 Feliz Año Nuevo 1932

SIERRA DE CORDOBA

HOTEL "PLAZA"

DE

JUAN KAWABATA

川
端
高

(QUINTA JAPONESA)



UNQUILLO
 F.C.C.C.



コ
ル
ド
バ
州
ウ
ン
キ
ー
リ
ヨ

RESTAURANT
"YOKOHAMA"
DE % NAKAGANEKU
CORRIENTES

賀正
昭和七年正月元旦
コリエンテス市
レストラン「横濱」
仲兼久前和

CAFE "TOKIO"
DE
% HIGA
CORRIENTES

賀正
昭和七年正月元旦
コリエンテス市
カフェ「東京」
全比嘉善
善善雄德

CAFE "TOKIO"
BELL VILLE
PROV. DE CORDOBA

賀正
昭和七年一月一日
ベル・ウィーゴ市
カフェ「東京」
山中村米吉助
山口末吉助

CAFE "SATUMA"

DE KUROKAWA Hnos

SERVICIO ESMEZADO

CASA PRINCIPAL SUCURSAL

RECONQUISTA 424 Av. L.N. ALEM 316-22

U.T. 31 RETIRO 2896

U.T. 31 RETIRO 1571

カフエ「さつま」
黒川 禎助
全義盛

旦元月正 年 新 賀 謹 年七和昭

TINTORERIA "JAPON"
SANTA FE 3603 esq. ARAOS
U.T. 71 PALERMO 6589

サンタフェ街 三六〇三
U.T. パレルモ 六五八九

竹村 銀次郎

ハホンレ洗濯店

TINTORERIA JAPONESA
TALLER DE LAVADO Y PLANCHADO
K. NAKAGAWA

PARANA 620

中川 勘助

U.T. 38 MAYO 7181

CLINICA MEDICA CANGALLO

CALLE CANGALLO 1542

Atendida personalmente por su director

Dr. A. Godal

淋病、梅毒、婦人病、肺、心臓、胃腸、腎臓、神経、系統、各科専門
診察時間
午前九時ヨリ十二時迄
午後三時ヨリ九時迄
日曜祭日ハ
午後九時ヨリ十二時迄

DRUGERIA EL SOL DE MAYO

DE BENITO CASTRO

CASA FUNDADA EN 1914

PORTELA

560-4

U.T. (67) 7166

品質優良なる
染色洗濯用
品。硫酸、ア
ニリン染料、ア
モニアコ其他一切

“EL TOKIO”

TINTORERIA Y TALLER DE SOMBREROS

DE J. KAMICKE

INDEPENDENCIA 3693

U. T. 45 LORIA 1365

東京染色店

上桶甚太郎

旦元月正 年 新 賀 恭 年七和昭

TINTORERIA
“GRAN JUD”

BRASIL
945

吉田仁吉

「グランスト」染色店

U. T.
23 B. ORDEN
3235

TINTORERIA
“YOKI”

DE

Y. OKAWA

ARENALES
2301

大河栄一

U. T.
JUNCAL
4675

Dr. E. Guljevich

Dentifrico Daf Efficaz e
Insperable

Eda. de Irigoyen 1404

U. T. 23 B. Orden 0279

診察ハ
午前九時ヨリ
午後八時マデ

法律相談
諸届代書
市内案内

右田事務所

主任 右田納助

本年も相変わらず倍旧の
御引立願上候

“EL NORTE”

LAVADO Y PLANCHADO

PARAGUAY 1328

U.T. JUNCAL 5064

洗濯店
「エル・ノルテ」
谷本兼吉

謹賀新年 昭和七年 正月元旦

TINTORERIA
BELGRANO

花本

保

MONROE
2937

U.T.
BELGRANO
3681

CAFE Y CERVEJERIA
LA "SATUMA"

Genl. Hornos 54

加竹久有
藤内松水

吉武純武
隆義雄二

新屋敷商店

製造販賣

とうふ・こんにゃく

市内カリフォルニア街二八四

DE GALANTE

痲病徴毒尿道

皮膚生殖器障害専門

◎診察時間

午後五時より

全十時まで

◎日曜日

午前十時より

全十二時まで

LARREA 162
1º Piso Dep. A
U.T. 47 CUYO 1240

ALMIRANTE
BROWN
1345
(Boca)

TINTORERIA
"NUEVA TOKYO"

DE Y. FUKADA

AYAQUEHO 437

U.T. 47 CUYO 7226

深田八重郎

「染色店
又エフ・東京」

アマクリチ街四三七
U.T. クリーヨ
七三三六

旦元月正 年 新 賀 謹 年七和昭

TINTORERIA
"JAPONESA"
DE YOGUI HIJOS.

與儀兄弟

MEXICO
883

U.T.
38 MAYO
3302

TINTORERIA
"ASAJI"
DE J. NAKA

仲新次郎

朝日染色店

TUCUMAN
1617

U.T.
38 MAYO
2316

BAR y RESTAURANT
"ASTURIAS"
Y
"BUENOS AIRES"

CORTON y GOMEZ
Hijos.

25 de Mayo 299

esq. Sarmiento

U.T. (33) 3414.1698.

FABRICA DE
MUEBLES DE BAMBU

DE IKUJI SAEKI
COCHABAMBA 1300

佐伯亥九二

竹細工製造販賣

コチマバンバ街一三〇〇

"EL JAPONES"

GRAN TINTORERIA Y TALLER DE
LAVADO Y PLANCHADO

DE
M. OSHIRO
TUCUMAN 71 U.T. 3117
CORDOBA

賀
正

コルドバ市
エル・ホネス・ラ・イニシエラ染色洗濯店

大
城
守
吉

FELIZ AÑO
1932 NUEVO 1932

RESTAURANT
JAPONES

DE
LUI SYAMAGUSHI

CALLE RIVADAVIA 484
U.T. 6526

CORDOBA
F. C. C. A.

CAFE "TOKIO"

DE
Z. NAKAMA

DOLORES

F. C. C. A.

賀
正

武州
ドコロレス市
カネエ東京
中間善衛門

謹
賀
新
年

裁縫師

佐伯克太郎

市内コチヤン街一三〇



亞爾然丁時報
同人

亞爾然丁時報
USPALLEATA 981, BSAIRES
UT 23 B. Oude 7051
發行人 水野勉